

令和 6 年度文部科学省委託調査研究

# 幼児期における固定的な性別役割分担意識及び アンコンシャス・バイアス形成に関する調査研究

## 報告書

2025（令和 7）年 3 月



お茶の水女子大学  
Ochanomizu University



## — 目 次 —

<b>第1章 調査実施要領</b>	1
1. 目的	1
2. 調査概要	1
3. 倫理的配慮	2
4. 本調査結果に関する留意点	2
<b>第2章 アンケート調査結果</b>	3
1. 回答者自身について	3
2. 回答者が勤めている園について	8
3. 子供たちの様子	14
4. 園の環境	19
5. 保護者との関わり	26
6. 回答者自身の考え方	32
7. 保育に関するこれまでの学び	40
<b>第3章 インタビュー調査結果</b>	46
1. A 地方国立大学附属幼稚園	46
2. B 地方公立幼稚園	47
3. C 都市部私立保育所	48
4. D 地方私立保育所	49
5. E 都市部私立保育所	50
<b>参考資料1 アンケート調査票</b>	51
<b>参考資料2 インタビューガイド</b>	82
<b>調査実施メンバー</b>	83

# 第1章 調査実施要領

## 1. 目的

本調査は、「女性版骨太の方針 2024」（すべての女性が輝く社会づくり本部・男女共同参画推進本部決定）において、「未就学児がジェンダーバイアスにより自分の可能性を狭めてしまわないよう、幼児期の教育現場等における固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の解消に資する方策について調査研究を行う」と記載されていることを踏まえ、文部科学省「令和 6 年度女性の多様なチャレンジに寄り添う学びと社会参画支援事業（固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込みの解消に資する調査研究）」の一環として実施された。幼児期におけるジェンダーに関わる園環境の実態や実践の工夫、教職員のジェンダー意識等について調査を行い、国内の幼児教育施設におけるジェンダーにかかるアンコンシャス・バイアスの実態と課題について明らかにすることを目的としている。

## 2. 調査概要

本目的のために、質問紙調査とインタビュー調査を実施した。

### 調査 1：オンラインによる質問紙調査

研究方法は、オンライン回答による質問紙調査である。2024 年 9 月から 11 月に実施した。対象は、全国の幼稚園・保育所・認定こども園の園長ほか教職員とした。サンプルの選定は、全国から多層無作為抽出によって、3012 園を抽出した。調査対象園に調査紙の URL および二次元バーコードを、郵送にて送付し、調査依頼を行った。

質問紙の作成にあたっては、クアルトリクス社（Qualtrics）の学術調査向けツール CoreXM を用いて質問項目を作成した。

質問紙は以下の 6 部構成とした。

1、園の実態と実践：性別で分ける環境構成、ジェンダー等に配慮した教育課程や指導計画について、具体的な場面における対応。2、子供の実態：ジェンダー意識の表出、仲間関係、遊び内容等。3、保護者への対応：保護者会等や団体、要望への対応、保護者への性別役割期待等。4、保育者自身の意識：男女児へのイメージ、性別役割意識や価値観等。5、養成や研修：就職前の養成での学び、就職後の研修受講経験等。6、個人や園の属性：園の種別や規模、経験年数等に加え、上記 1～4 に関する園職員の男女構成、回答者の年代や養成を受けた年代等についても回答を求めた。

回収された回答は 928 票であったが、このうち、有効回答は 807 票であった。

## 調査2：インタビュー調査

調査1をもとに選定した園に連絡をとり、研究目的を改めて説明し協力いただけた5園に、12月に訪問してインタビューを行った。インタビューは2時間程度の半構造化インタビューであり、質問はインタビューガイドを基本とした。なお、インタビューの内容は許可を得られた場合のみICレコーダーで録音した。

許可が得られた場合、園内の環境や保育の見学をした。なお、園児にはその年齢等に応じて担任保育者などから説明いただいた。保育の妨げにならないよう、直接話しかけられたときのみ応答するようにした。

## 3. 倫理的配慮

調査参加は匿名・任意とし、不参加でも不利益がないこと等を説明した上で同意を得た方のみご協力いただいた。本研究は、国立大学法人お茶の水女子大学:人文社会科学研究の倫理審査委員会における倫理審査をうけ承認されている（承認番号2024-83号）。

## 4. 本調査結果に関する留意点

調査結果の比率は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示している。したがって、合計が100%にならない場合がある。

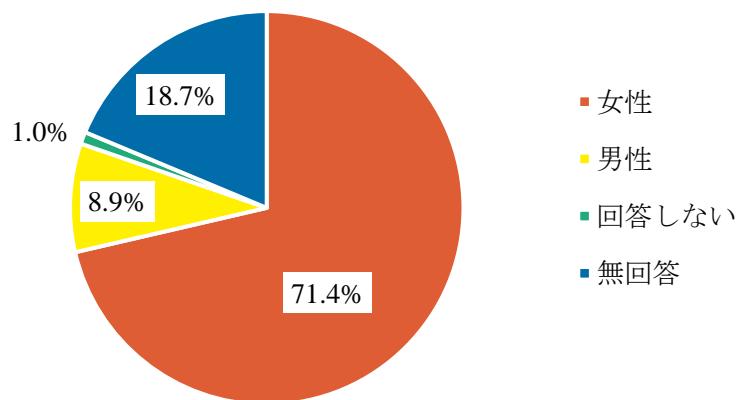
## 第2章 アンケート調査結果

### 1. 回答者自身について

#### (1)性別

回答者のうち「女性」が71.4%、「男性」が8.9%であり、「回答しない」「無回答」はあわせて19.7%である。

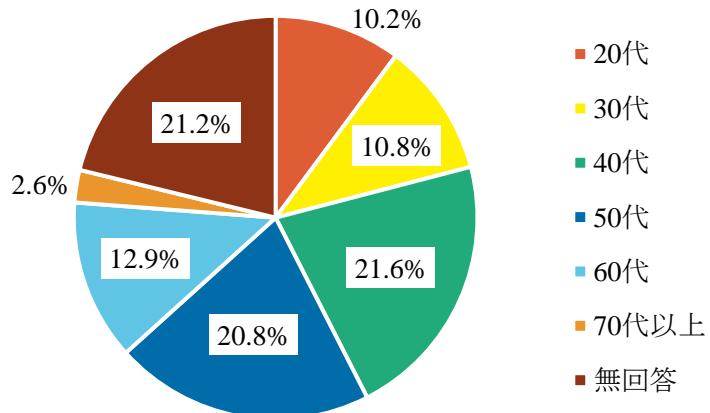
図表2-1-1 回答者の性別 (n = 807)



#### (2)年齢

回答者の年齢を年代別にまとめると、20代が10.2%、30代が10.8%、40代が21.6%、50代が20.8%、60代が12.9%、70代以上が2.6%である。

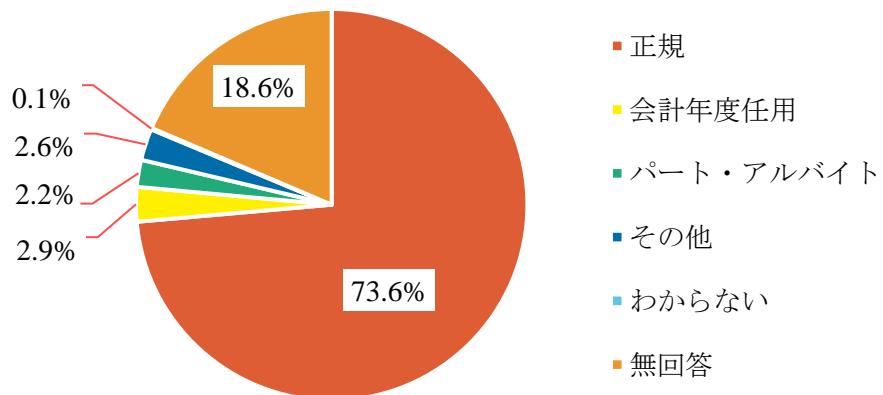
図表2-1-2 回答者の年齢 (n = 807)



### (3)雇用形態

回答者の雇用形態は、「正規」が73.6%、「会計年度任用」が2.9%、「パート・アルバイト」が2.2%、「その他」が2.6%である。

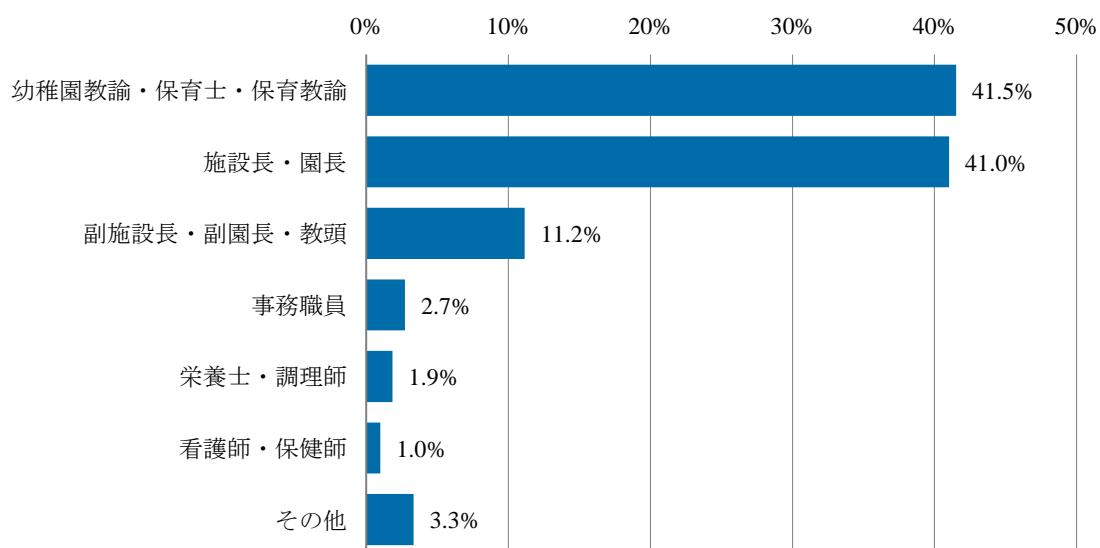
図表2-1-3 回答者の雇用形態 (n = 807)



### (4)職種

回答者の職種は、「幼稚園教諭・保育士・保育教諭」が41.5%、「施設長・園長」が41.0%、「副施設長・副園長・教頭」が11.2%、「事務職員」が2.7%、「栄養士・調理師」が1.9%、「看護師・保健師」が1.0%、「その他」が3.3%である。

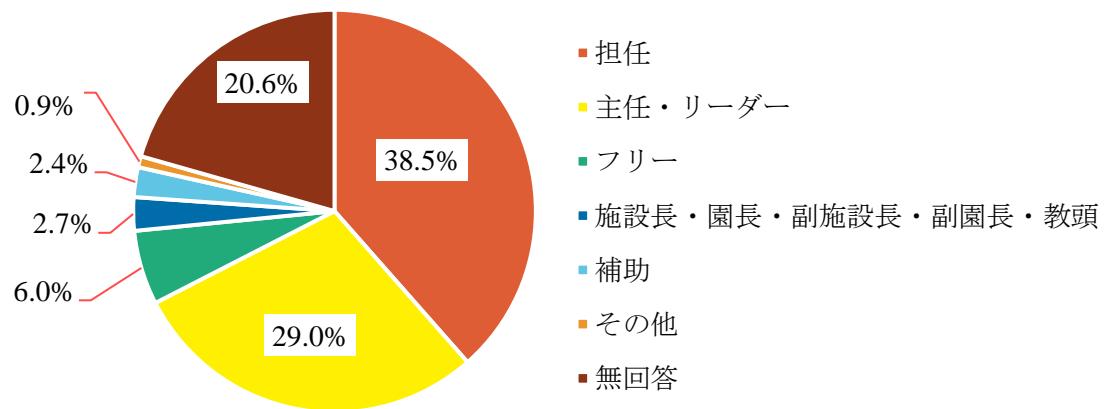
図表2-1-4 職種（複数回答）(n = 807)



## (5)職位

職種として「幼稚園教諭・保育士・保育教諭」を選択した回答者の職位は、「担任」が38.5%、「主任・リーダー」が29.0%、「フリー」が6.0%、「施設長・園長・副施設長・副園長・教頭」が2.7%、「補助」が2.4%、「その他」が0.9%である。

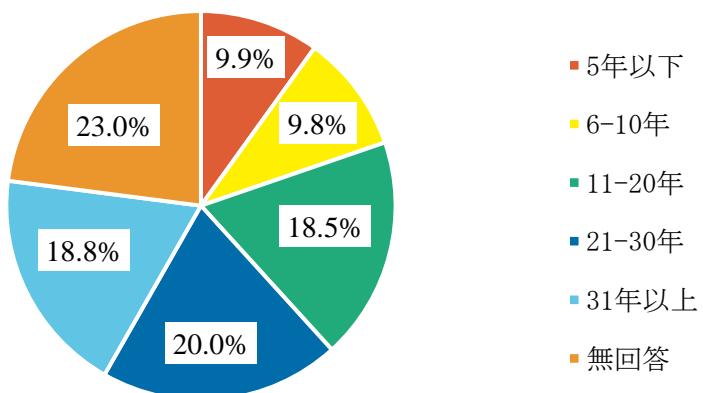
図表2-1-5 回答者（「幼稚園教諭・保育士・保育教諭」）の職位  
(n = 335)



## (6)保育者としての経験年数

職種として「施設長・園長」、「副施設長・副園長・教頭」、「幼稚園教諭・保育士・保育教諭」を選択した回答者の保育者としての経験年数は、「5年以下」が9.9%、「6-10年」が9.8%、「11-20年」が18.5%、「21-30年」が20.0%、「31年以上」が18.8%である。

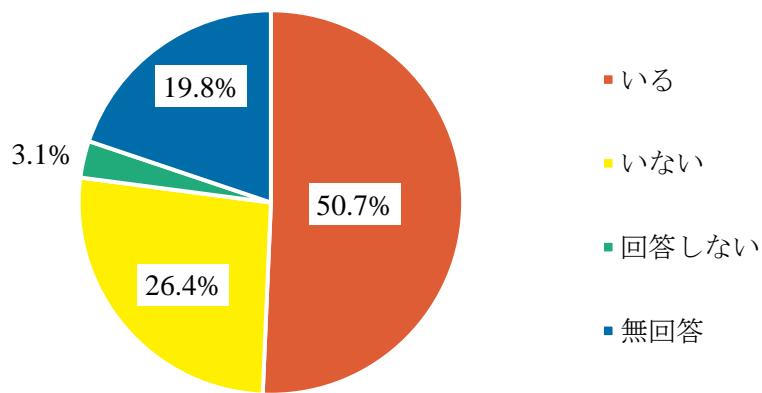
図表2-1-6 保育者としての経験年数 (n = 745)



(7)生計を共にするパートナー（配偶者等）の有無

配偶者等のパートナーが「いる」と選択した回答者は50.7%が、「いない」を選択した回答者は26.4%である。

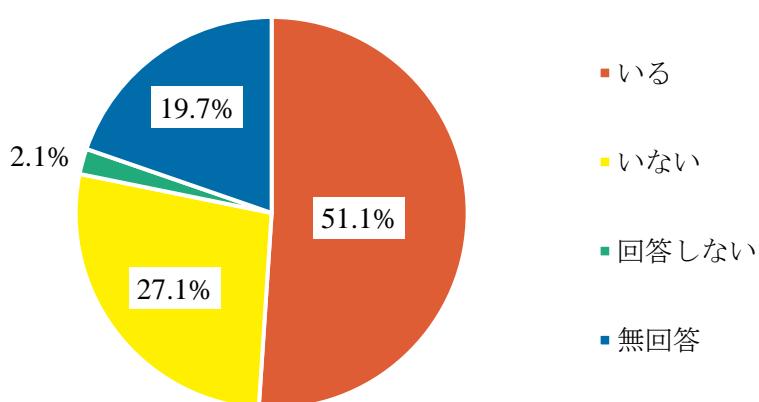
図表2-1-7 回答者のパートナー（配偶者等）の有無 (n = 807)



(8)子供の有無

子供が「いる」を選択した回答者は51.1%、「いない」を選択した回答者は27.1%である。

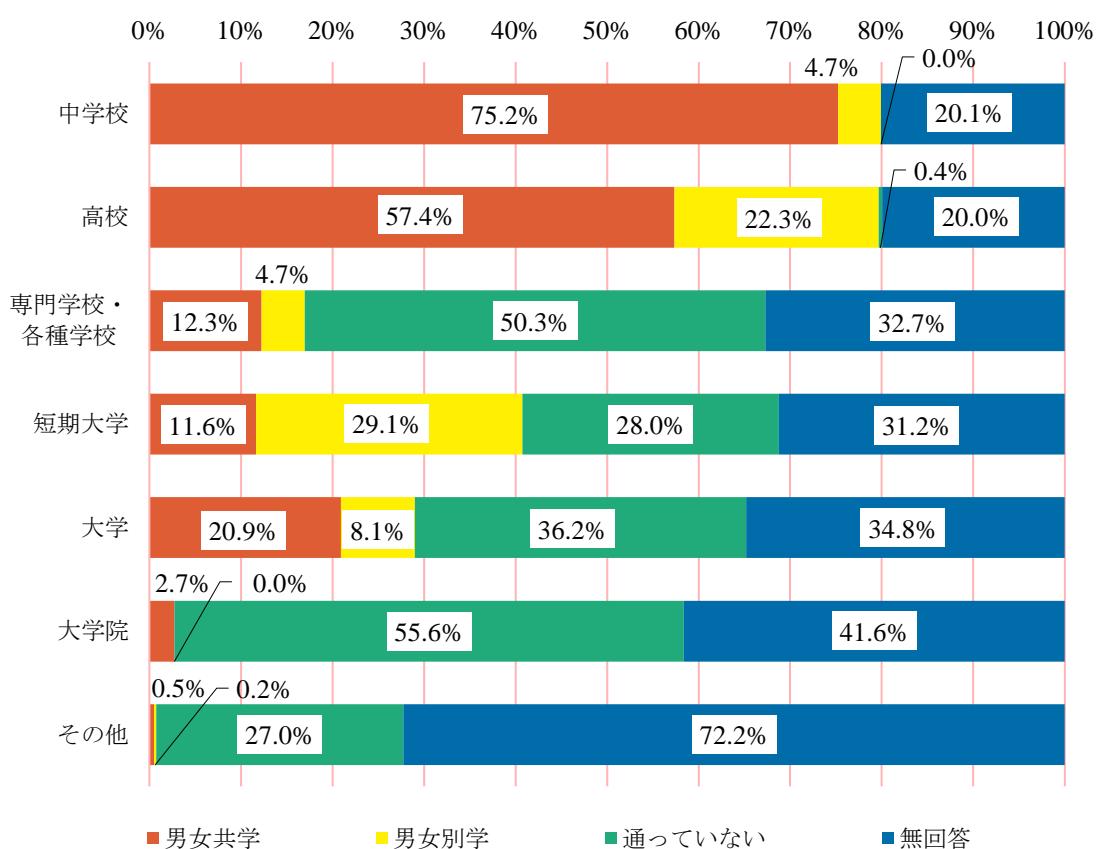
図表2-1-8 回答者の子供の有無 (n = 807)



## (9)卒業した学校

卒業した学校について、中学校を卒業した 79.9%のうち、75.2%が男女共学の、4.7%が男女別学であり、高校を卒業した 79.7%のうち、57.4%が男女共学の、22.3%が男女別学の高校を卒業している。専門学校等を卒業した 17.0%のうち、男女共学が 12.3%、男女別学が 4.7%であり、短期大学を卒業した 40.7%のうち、男女共学が 11.6%、男女別学が 29.1%である。大学を卒業した 29.0%のうち、男女共学が 20.9%、男女別学が 8.1%である。大学院を卒業しているのは 2.7%であり、男女共学である。

図表2-1-9 卒業した学校 (n = 807)

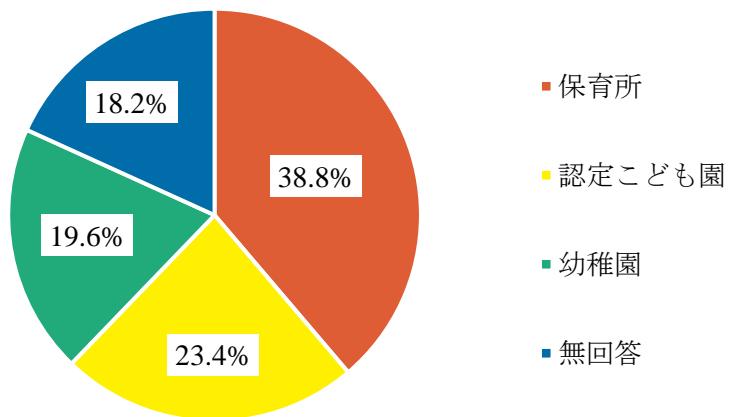


## 2. 回答者が勤めている園について

### (1)園の形態

回答者が勤めている園の形態は、「保育所」が38.8%、「認定こども園」が23.4%、「幼稚園」が19.6%である。

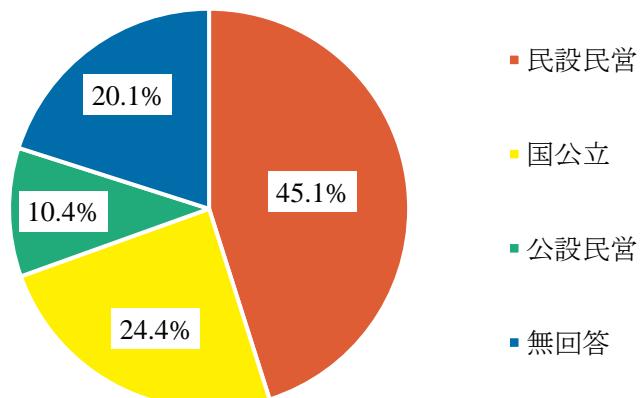
図表2-2-1 園の形態 (n = 807)



### (2)園の設立形態

回答者の勤めている園の設立形態は、「民設民営」が45.1%、「国公立」が24.4%、「公設民営」が10.4%である。

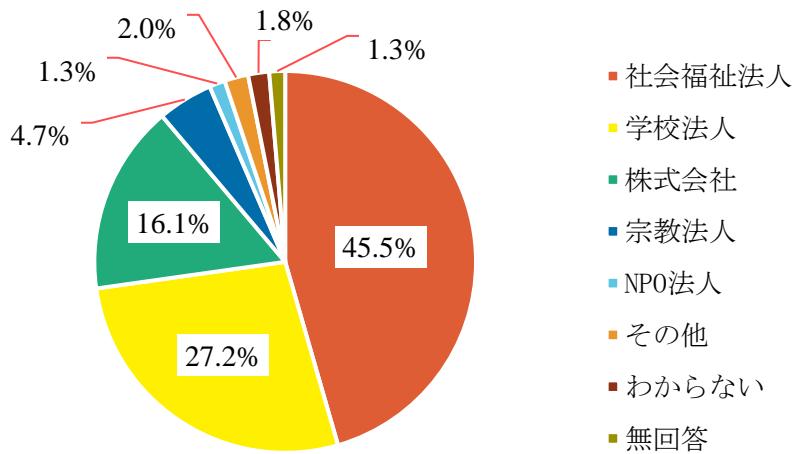
図表2-2-2 園の設立形態 (n = 807)



### (3)園の運営形態

園の設立形態を「民設民営」もしくは「公設民営」と選択した回答者のうち、園の運営形態は「社会福祉法人」が45.5%、「学校法人」が27.2%、「株式会社」が16.1%、「宗教法人」が4.7%、「NPO法人」が1.3%、「その他」が2.0%、「わからない」が1.8%、「無回答」が1.3%である。

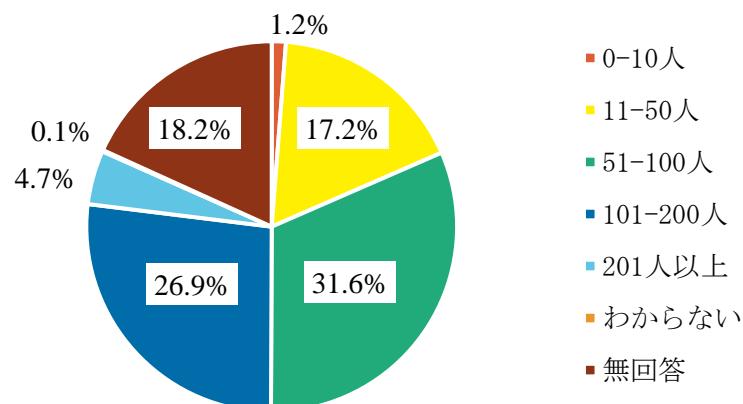
図表2-2-3 園の運営形態 (n = 448)



### (4)園児の人数

在籍する園児の人数について、「0-10人」が1.2%、「11-50人」が17.2%、「51-100人」が31.6%、「101-200人」が26.9%、「201人以上」が4.7%、「わからない」が0.1%、「無回答」が4.7%である。

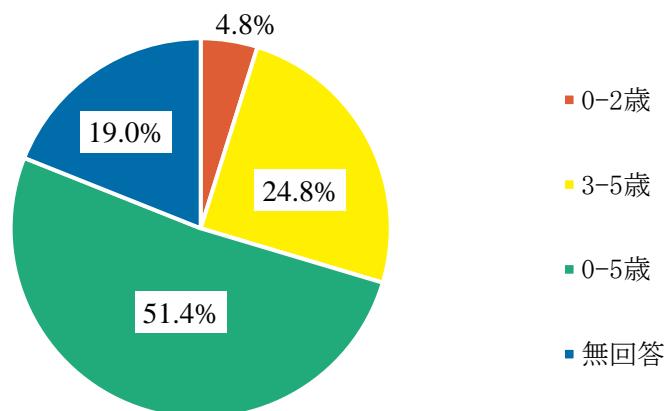
図表2-2-4 園児の人数 (n = 807)



### (5)在園児の年齢

在籍する園児の年齢について、「0-2歳」が4.8%、「3-5歳」が24.8%、「0-5歳」が51.4%である。

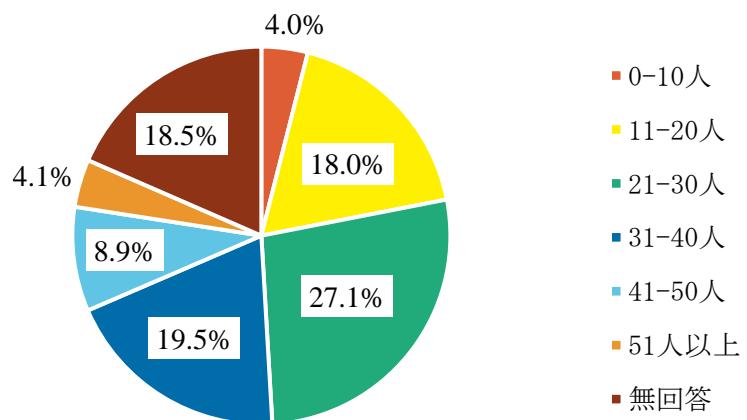
図表2-2-5 在園児の年齢 (n = 807)



### (6)全職員の人数

回答者が勤めている園の全職員の人数について、「0-10人」が4.0%、「11-20人」が18.0%、「21-30人」が27.1%、「31-40人」が19.5%、「41-50人」が8.9%、「51人以上」が4.1%である。

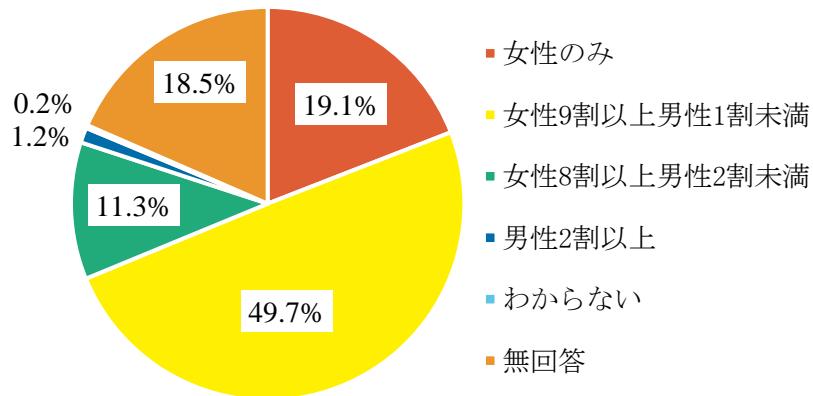
図表2-2-6 全職員の人数 (n = 807)



### (7)職員全体の男女比

回答者の勤めている園の職員全体の男女比について、「女性のみ」である場合が19.1%、「女性9割以上男性1割未満」の場合が49.7%、「女性8割以上男性2割未満」の場合が11.3%、「男性2割以上」の場合が1.2%である。

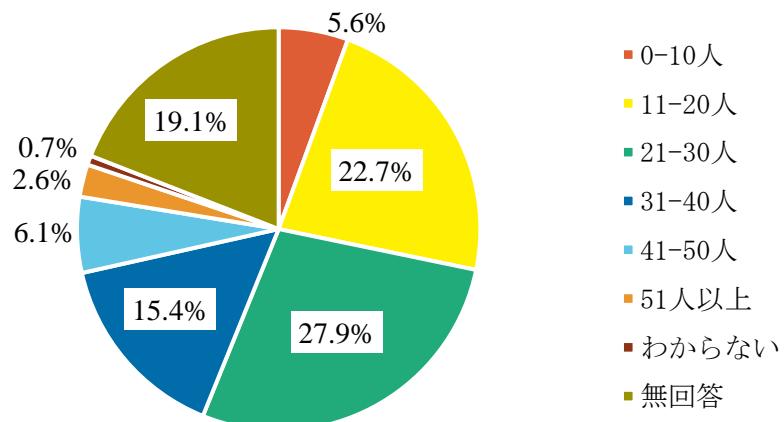
図表2-2-7 職員全体の男女比 (n = 807)



### (8)保育者の人数

回答者の勤めている園の保育者の人数について、「0-10人」が5.6%、「11-20人」が22.7%、「21-30人」が27.9%、「31-40人」が15.4%、「41-50人」が6.1%、「51人以上」が2.6%である。

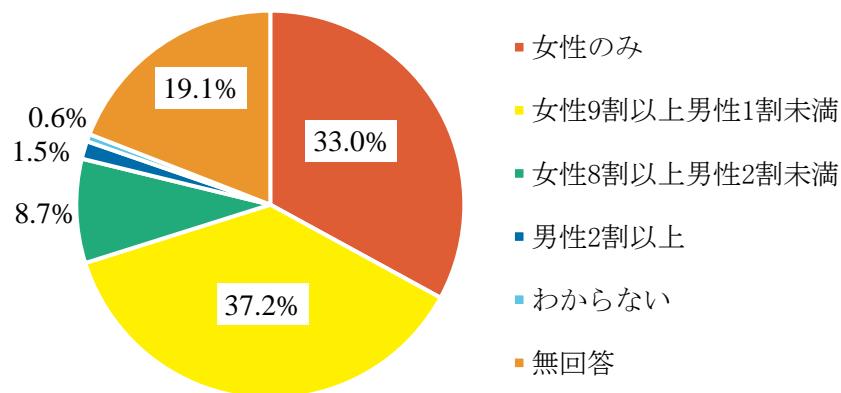
図表2-2-8 保育者の人数 (n = 807)



#### (9)保育者の男女比

回答者の勤めている園の保育者の男女比について、「女性のみ」である場合が 33.0%、「女性 9 割以上男性 1 割未満」の場合が 37.2%、「女性 8 割以上男性 2 割未満」の場合が 8.7%、「男性 2 割以上」の場合が 1.5% である。

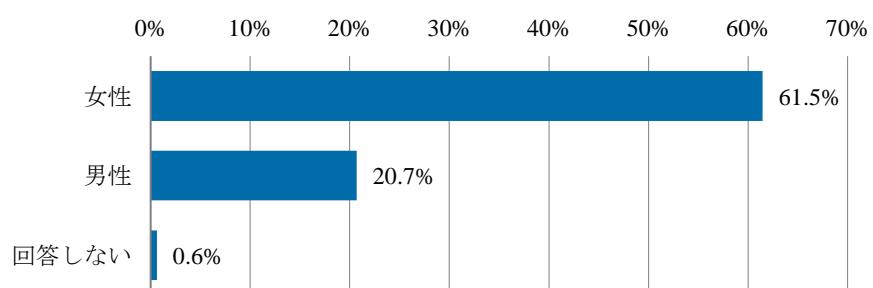
図表2-2-9 保育者の男女比 (n = 807)



#### (10)園長・施設長の性別

回答者の勤めている園の園長・施設長の性別は、「女性」である場合が 61.5%、「男性」である場合が 20.7% である。

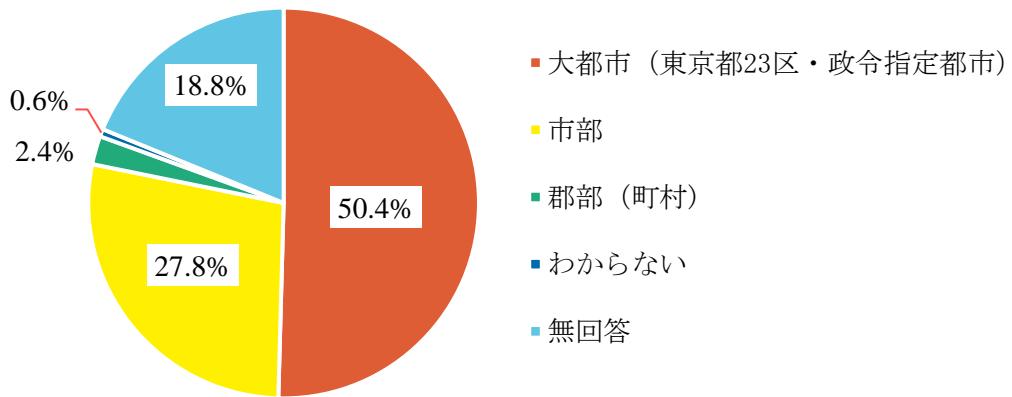
図表2-2-10 園長・施設長の性別 (複数回答) (n = 807)



### (11)園の所在地

回答者の勤めている園の所在地について、「大都市（東京都23区・政令指定都市）」が50.4%、「市部」が27.8%、「郡部（町村）」が2.4%である。

図表2-2-11 園の所在地 (n = 807)



### 3. 子供たちの様子

#### (1) 子供たちが園内で自由に遊んでいるときの様子

次に、園内において子供たちが自ら選んで取り組む遊びの傾向を検討する。図表 2-3-1 は、子供たちの遊びにおける性別の影響や遊びの選択に関する回答結果を示している。

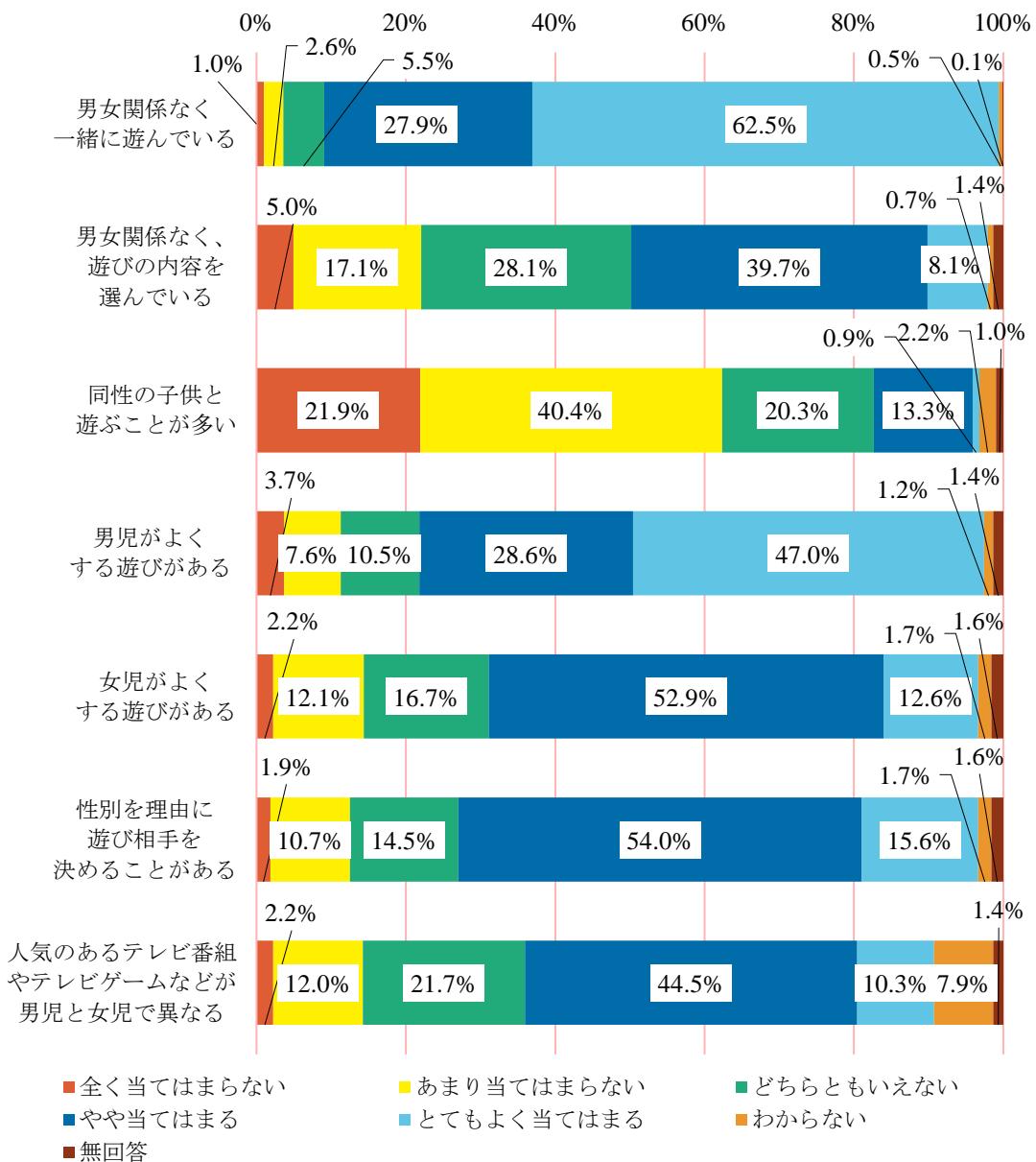
まず、「男女関係なく一緒に遊んでいる」という項目に対する回答では、「とてもよく当てはまる」が 62.5%、「やや当てはまる」が 27.9%となっており、回答者の 9 割以上が「子供が性別を問わず遊んでいる」と認識している。「同性の子供と遊ぶことが多い」という項目に対しては、40.4%が「あまり当てはまらない」と回答しているが、一方で「とてもよく当てはまる」(0.9%)および「やや当てはまる」(13.3%)を合わせると 2 割弱の回答者が、子供が同性の遊び相手を選ぶ傾向があると考えている。ただし、「性別を理由に遊び相手を決めることがある」という設問に対しては、「とてもよく当てはまる」が 15.6%、「やや当てはまる」が 54.0%となっており、明確に性別を基準に遊び相手を決める子供も多いと認識されていることがわかる。

遊びの内容に関する設問「男女関係なく遊びの内容を選んでいる」には、「とてもよく当てはまる」が 8.1%、「やや当てはまる」が 39.7%となり、おおむね性別に関係なく遊びを選んでいる傾向が見られる。ただし、「男児がよくする遊びがある」という設問に対する回答では、「とてもよく当てはまる」が 47.0%、「やや当てはまる」が 28.6%となり、特定の遊びが男児に多く見られることがわかる。同様に、「女児がよくする遊びがある」という設問についても、「とてもよく当てはまる」が 12.6%、「やや当てはまる」が 52.9%となり、特定の遊びが女児によく見られることが示されている。

また、「人気のあるテレビ番組やテレビゲームなどが男児と女児で異なる」ことについては、「とてもよく当てはまる」が 10.3%、「やや当てはまる」が 44.5%となり、遊びの嗜好が性別によって異なる傾向も確認できる。

以上の結果から、園関係者は、子供たちは男女の区別なく遊んでいると認識している一方で、一部の遊びや遊びの嗜好には性別による違いが存在すると考えていることがわかる。

図表2-3-1 子供たちが園内で自由に遊んでいるときの様子  
(n = 807)



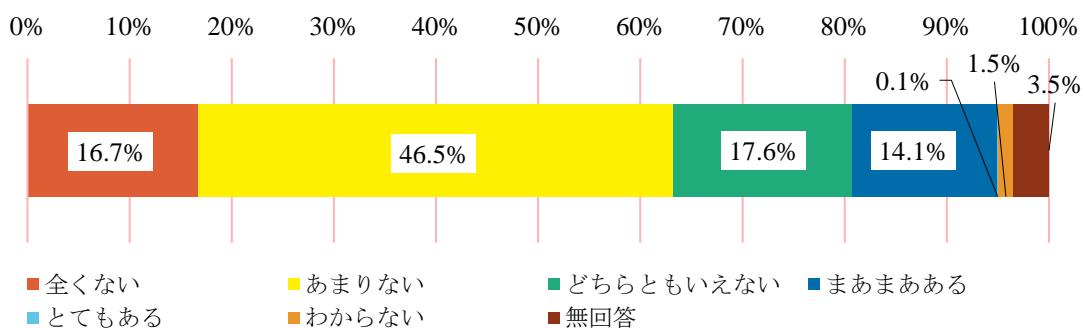
## (2) 子供たちのジェンダー・ステレオタイプに基づく発言

図表2-3-2は、子供たちが性別に基づく固定的な考え方を反映した発言をする頻度についての回答結果を示している。

「ジェンダー・ステレオタイプに基づく発言が全くない」との回答は16.7%であり、「あまりない」との回答が46.5%と最も多く、全体の6割以上が子供たちの発言にジェンダー・ステレオタイプはほとんど見られないと認識している。一方で、「まあまあある」との回答は14.1%、「とてもある」との回答は0.1%となっており、ジェンダー・ステレオタイプに基づく発言がある程度見られると認識している園関係者も一定数存在する。

この結果から、多くの園関係者は、園内での子供たちの発言にジェンダー・ステレオタイプが強く現れているとは認識していないものの、一部の園関係者は性別に基づく発言があることを感じていることがわかる。

図表2-3-2 子供たちのジェンダー・ステレオタイプに基づく発言  
(n = 807)



## (3) 各活動時の子供たちの様子

さらに、園内でのさまざまな活動において、男女の行動や関心の違いがどの程度見られるかについて、園関係者の認識を検討する。図表2-3-3は、各活動における子供たちの様子に関する回答結果を示している。

調査の結果、全体的に園関係者は多くの活動において男女の違いはあまり見られないと認識している。特に、「飼育・栽培」、「食育(調理を含む)」、「子供の疑問に基づく実験(例: 色水を混ぜて色の変化を試す活動など)」の活動では、「男女で全く違いはみられない」または「男女であまり違いはみられない」との回答がいずれも70%以上を占め、男女差があまりないと認識されていることがわかる。具体的には、飼育・栽培では「男女で全く違いはみられない」が33.1%、「男女であまり違いはみられない」が38.1%で、合計71.2%を占める。食育では「男女で全く違いはみられない」が36.7%、「男女であまり違いはみられない」が40.5%で、合計77.2%が性別による差はほとんどないと回答している。子供の疑問に基づく実験では、「男女で全く違いはみられない」が34.7%、「男女であまり違いはみら

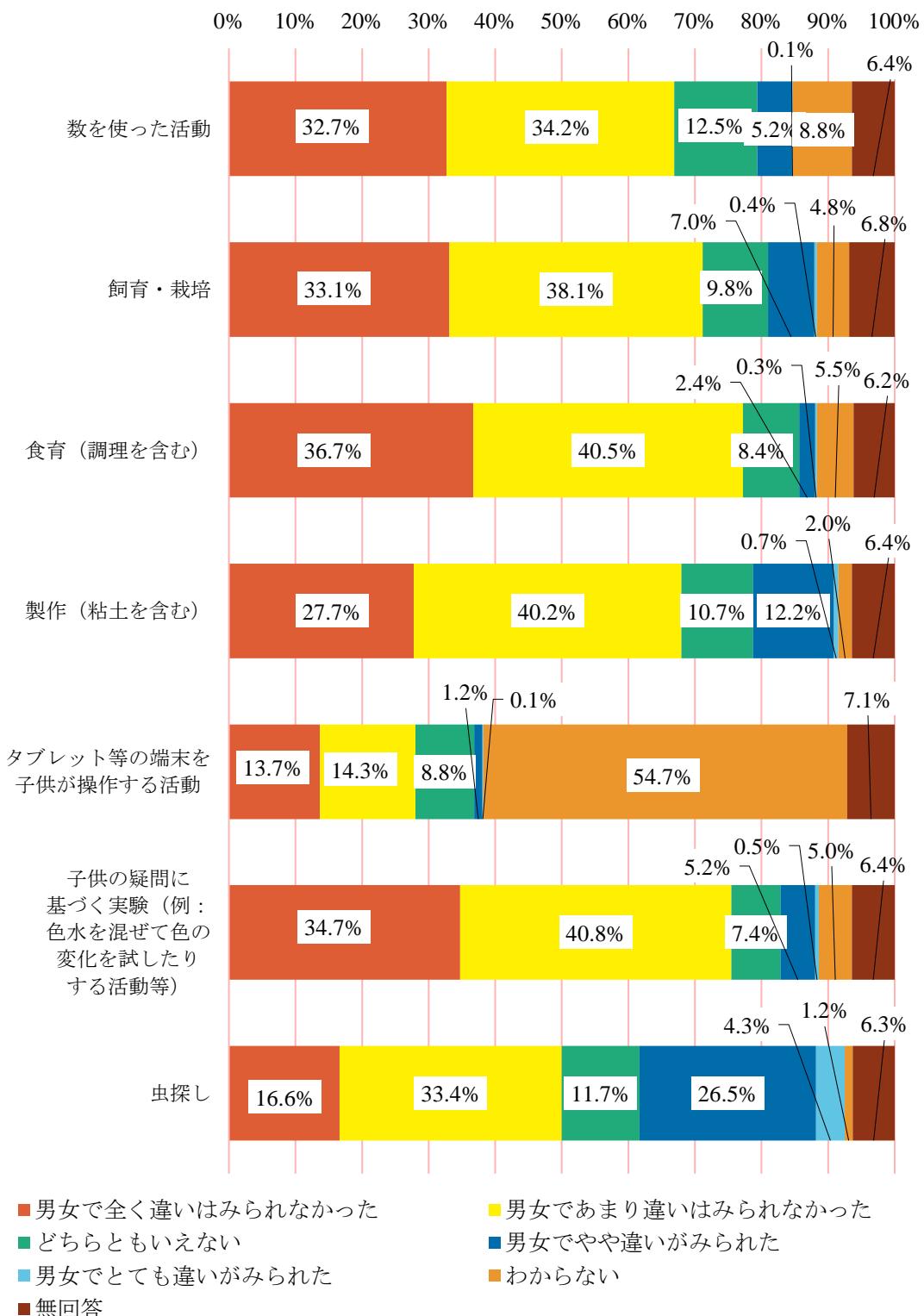
れない」が40.8%で、合計75.5%を占めている。

また、「数を使った活動」、「製作(粘土を含む)」に関しても、男女差があまりないとする回答が比較的多いものの、「男女で全く違いはみられない」および「男女であまり違いはみられない」の合計は、それぞれ66.9%と67.9%となり、70%を若干下回る結果となっている。これらの活動においても大きな男女差は認識されていないが、上記の活動と比較すると、わずかに性別による違いを感じる場面が多いことがわかる。

その一方で、「虫探し」に関しては、他の活動に比べて男女で違いが見られるとする回答がやや多くなっている。具体的には、園関係者の約半数が「男女で全く違いはみられない」(16.6%)または「男女であまり違いはみられない」(33.4%)と回答しているが、一方で、「男女でやや違いがみられる」(26.5%)および「男女でとても違いがみられる」(4.3%)とする回答も30%以上を占めており、他の活動と比較すると男女の違いを認識する割合がやや高いことがわかる。

「タブレット等の端末を子供が操作する活動」については、他の項目と異なり「わからない」との回答が54.7%と最も多くなっている。その他の回答をみると、「男女で全く違いはみられない」との回答が13.7%、「男女であまり違いはみられない」との回答が14.3%となっており、「わからない」を除いた場合には、男女による違いが「全くない」または「あまりみられない」とする回答割合が高くなっている。

図表2-3-3 各活動時の子供たちの様子 (n = 746)

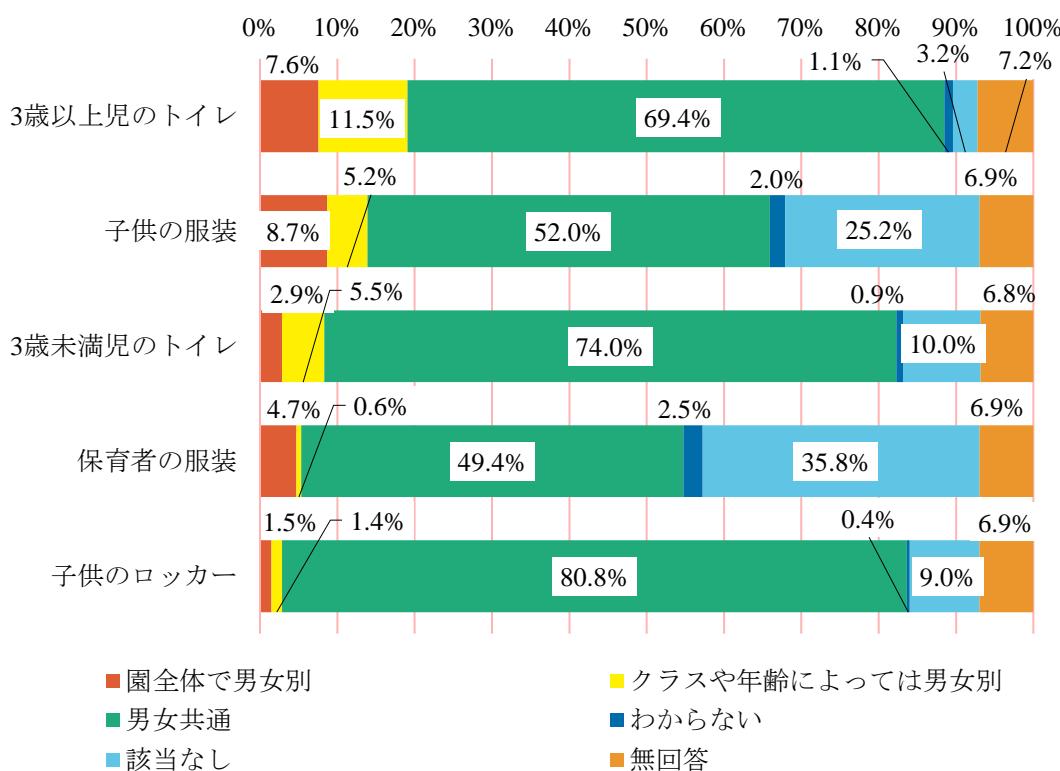


## 4. 園の環境

### (1) 園内の服装や環境

「あなたが勤めている園では、以下について男女別になっていますか。園の状況に最も近いものをそれぞれ1つずつ選択してください。」という問い合わせについて、いずれも「男女共通」「該当なし」を合わせた回答が7割以上となっている。「園全体で男女別」「クラスや年齢によっては男女別」は、「3歳以上児のトイレ」「子供の服装」「3歳未満児のトイレ」の順に多い。

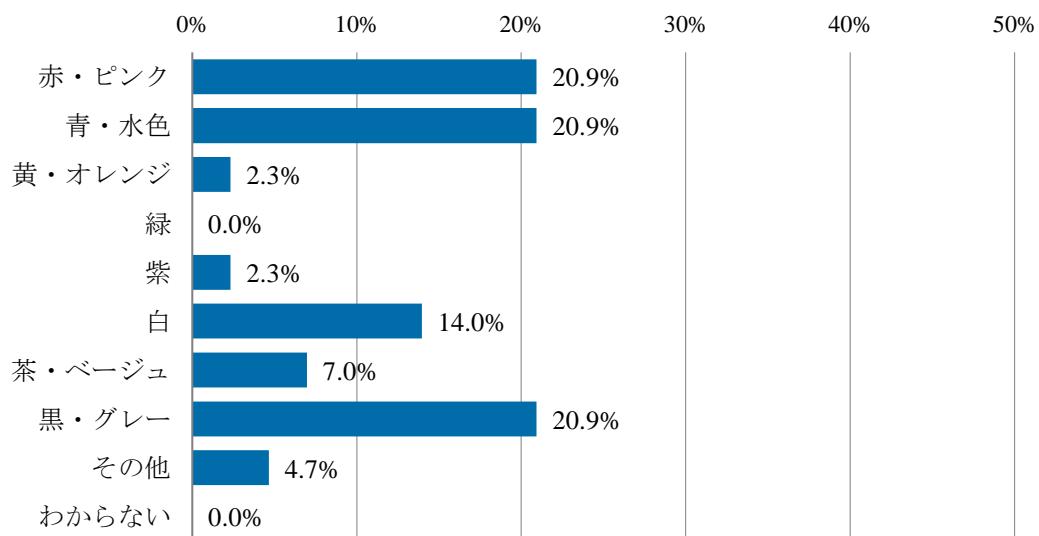
図表2-4-1 園内の環境 (n = 807)



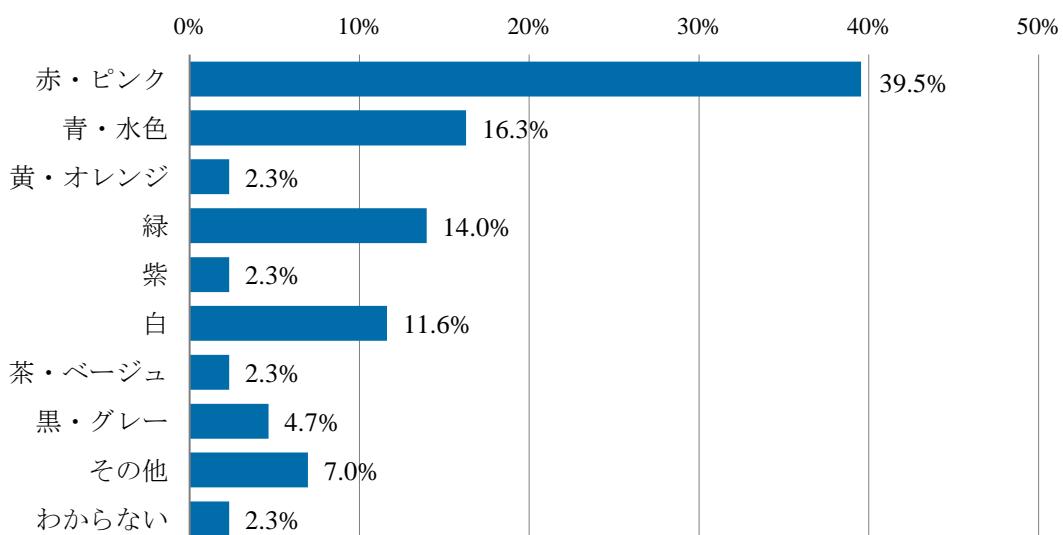
## (2) 保育者の服装が男女別である場合の配色

「保育者の服装」を「園全体で男女別」「クラスや年齢によっては男女別」とした回答者について、「配色について最も近いもの」を尋ねた結果、男性の服装では「赤・ピンク」「青・水色」「黒・グレー」とともに20.9%となっている。女性の服装では「赤・ピンク」39.5%、「青・水色」16.3%、「緑」14.0%の順に多い。

図表2-4-2 保育者（男性）の服装（複数回答）（n = 43）



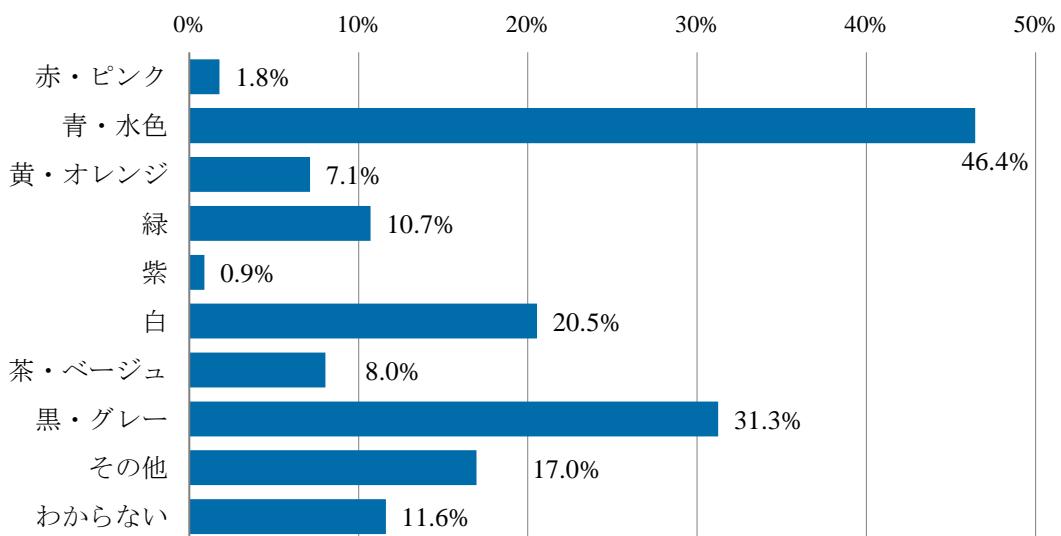
図表2-4-3 保育者（女性）の服装（複数回答）（n = 43）



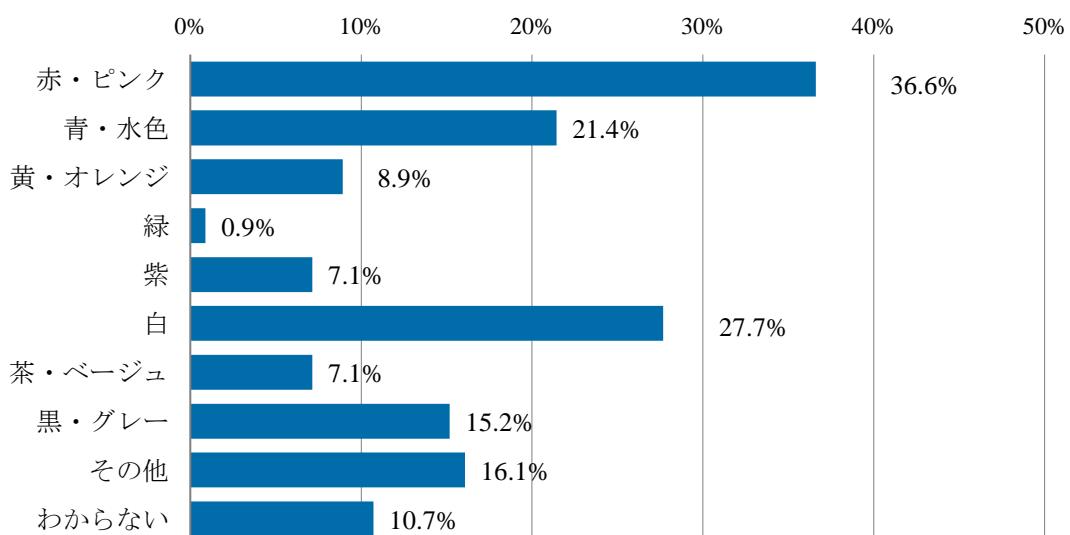
### (3) 子供の服装が男女別である場合の配色

「子供の服装」を「園全体で男女別」「クラスや年齢によっては男女別」とした回答者について、「配色について最も近いもの」を尋ねた結果、男児の服装では「青・水色」が46.4%と最も多く、続いて「黒・グレー」31.3%、「白」20.5%となっている。女児の服装では「赤・ピンク」36.6%、「白」27.7%、「青・水色」21.4%の順に多い。

図表2-4-4 男児の服装（複数回答）（n = 112）



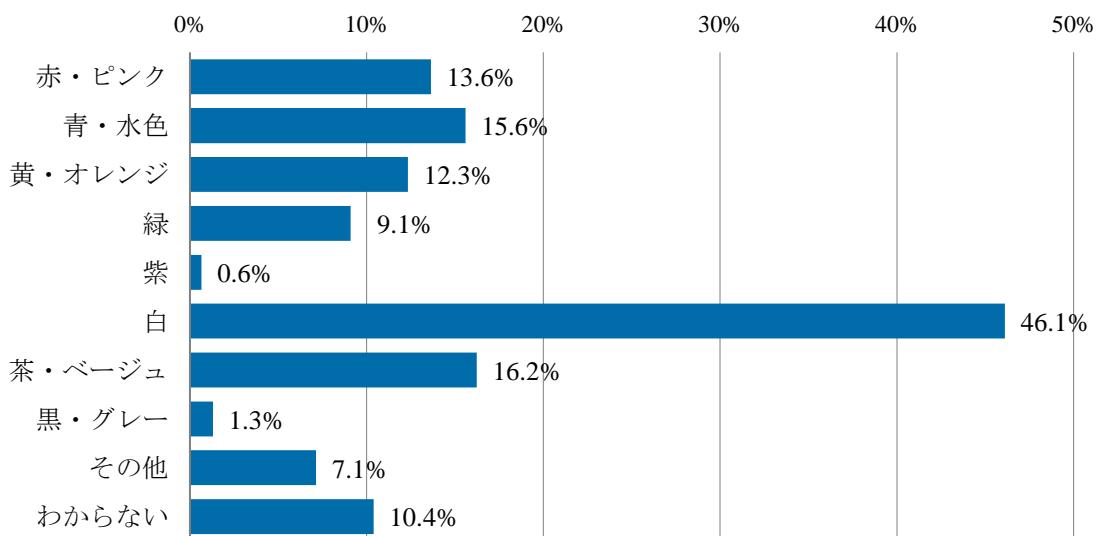
図表2-4-5 女児の服装（複数回答）（n = 112）



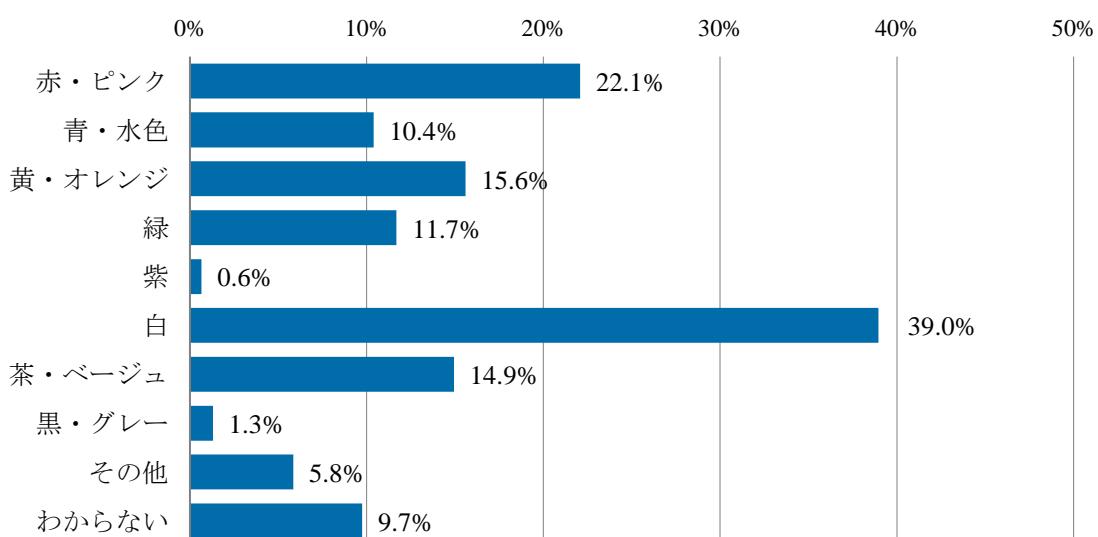
#### (4) 3歳以上児のトイレが男女別である場合の配色

「3歳以上児のトイレ」を「園全体で男女別」「クラスや年齢によっては男女別」とした回答者に、「配色について最も近いもの」を尋ねた結果、男児・女児ともに「白」が最も多い（それぞれ46.1%、39.0%）。続いて男児では「茶・ベージュ」が16.2%、「青・水色」が15.6%、女児では「赤・ピンク」が22.1%、「黄・オレンジ」が15.6%である。

図表2-4-6 男児（3歳児以上）のトイレ（複数回答）（n = 154）



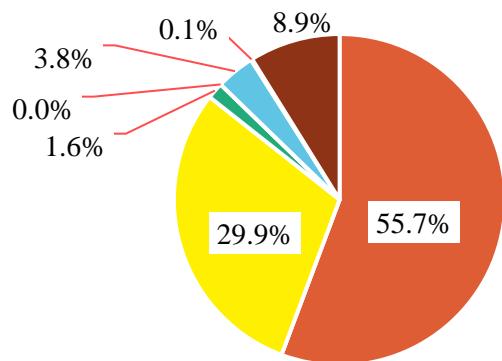
図表2-4-7 女児（3歳児以上）のトイレ（複数回答）（n = 154）



#### (4) 持ち物や場所の区別

「子供が自分で、持ち物や場所（靴箱やロッカー等）を区別できるように、園内ではどのように示していますか。」という問い合わせに対しては、「子供の名前を書いたり、名前シールを貼ったりしている」が 55.7%で最も多く、続いて「ひとりひとり異なる絵のついたシールを貼っている」 29.9%となっている。

図表2-4-8 持ち物や場所を区別する方法 (n = 745)

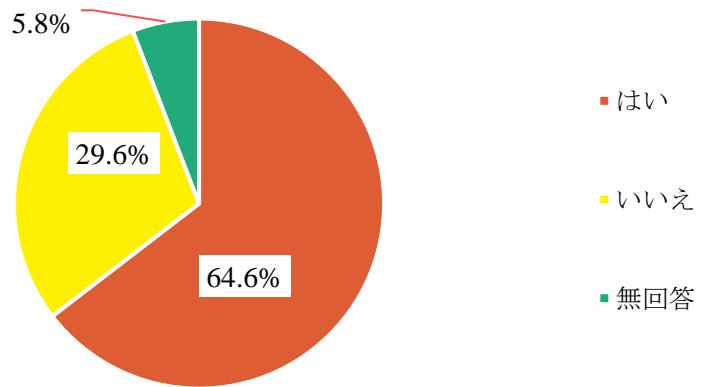


- 子供の名前を書いたり、名前シールを貼ったりしている
- ひとりひとり異なる絵のついたシールを貼っている
- 子供の顔写真を貼っている
- 個人用の持ち物や場所はない
- その他
- わからない
- 無回答

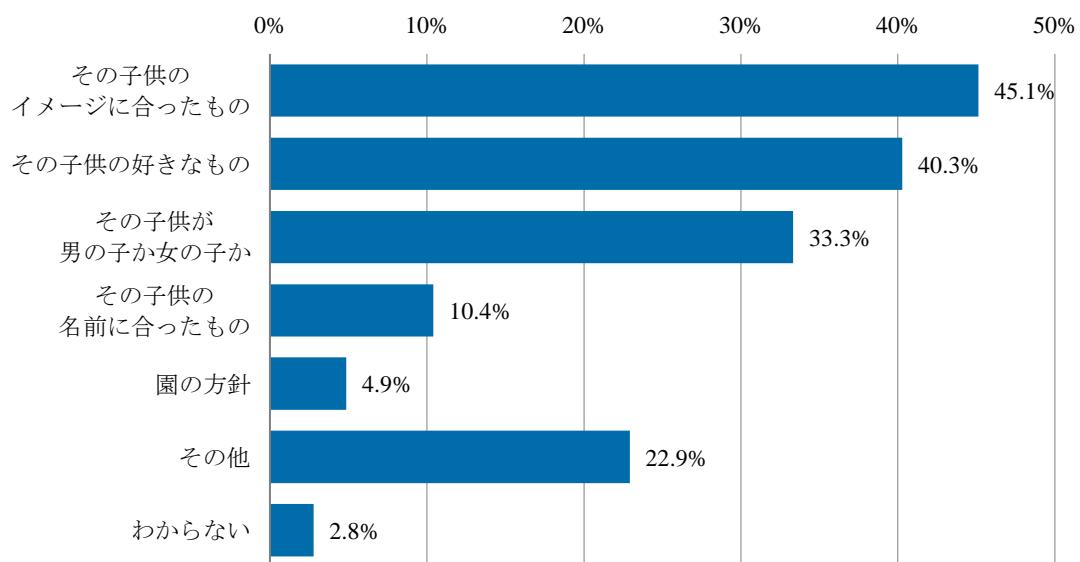
#### (5) シールの選択への関与と考慮事項

「ひとりひとり異なる絵のついたシールを貼っている」という回答のうち、これまでシールの選択に関わったことがあるという回答は 64.6%である。その方に「あなたが子供それぞれにシールを選ぶ際に、どのようなことを考慮されましたか」と尋ねた結果、「その子供のイメージに合ったもの」が 45.1%で最も多く、続いて「その子供の好きなもの」 40.3%、「その子供が男の子か女の子か」 33.3%となっている。

図表2-4-9 絵のついたシールの選択への関与 (n = 223)



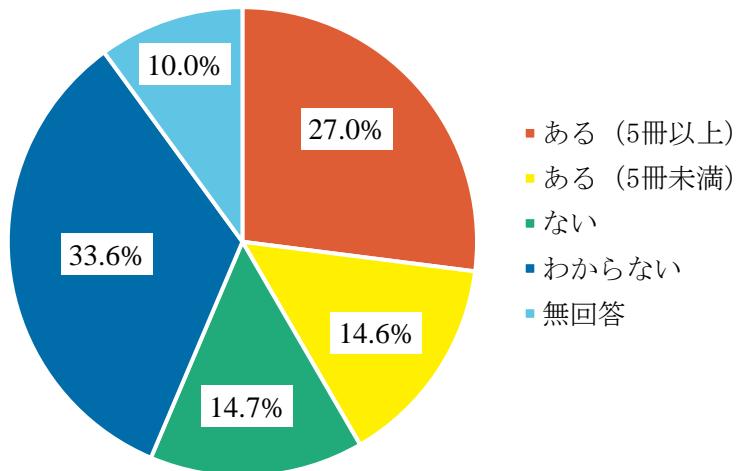
図表2-4-10 シール選択時の考慮事項 (複数回答) (n = 154)



#### (6)絵本の配置

「園内に固定的な性別役割分担にとらわれない絵本を配置されていますか」という問い合わせに対しては「わからない」が33.6%で最も多く、続いて「ある（5冊以上）」が27.0%、「ない」が14.7%、「ある（5冊未満）」が14.6%である。

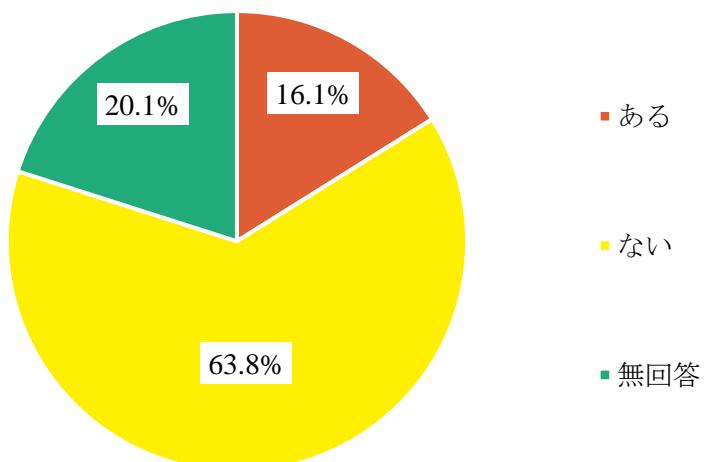
図表2-4-11 固定的な性別役割分担にとらわれない絵本 (n = 807)



#### (7)園内での取り組み

「あなたが勤めている園で、固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込みを解消するために取り組まれたことはありますか」という問い合わせに対しては「ない」が63.8%であり、「ある」16.1%、無回答20.1%である。

図表2-4-12 ジェンダー・アンコンシャス・バイアス  
解消のための園での取り組み (n = 807)



## 5. 保護者との関わり

### (1)保護者の集会

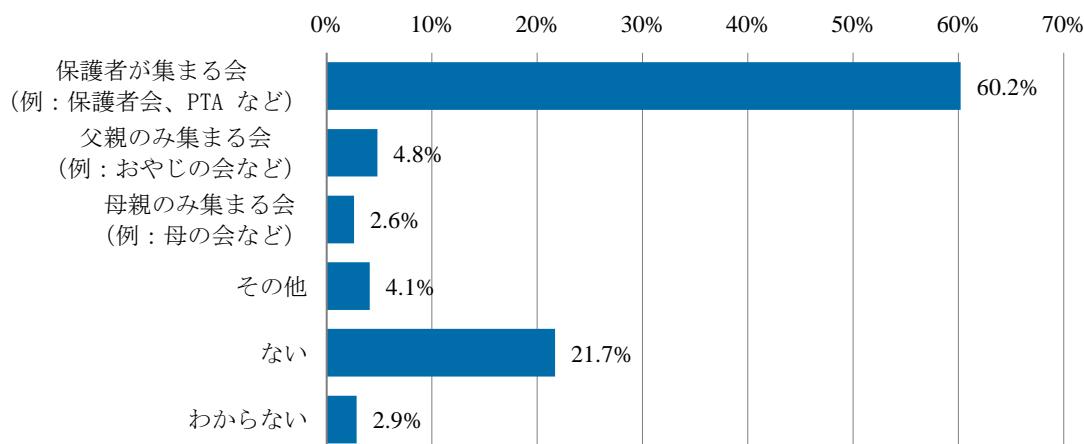
まず、園における保護者の集会の実施状況について、園関係者に対して複数回答形式で尋ねた結果を図表 2-5-1 に示す。

調査の結果、「保護者が集まる会(例：保護者会、PTA など)」を実施している園が 60.2% と最も多く、半数以上の園で保護者が参加する集会が行われていることがわかる。その一方で、そういった会が「ない」と回答する園も 21.7% 存在する。

また、「父親のみ集まる会(例：おやじの会など)」を実施している園は 4.8%、「母親のみ集まる会(例：母の会など)」を実施している園は 2.6% となっており、特定の性別の保護者のみを対象とした集会は少数派であることがわかる。「その他」の回答は 4.1%、「わからない」は 2.9% となっている。

以上の結果から、多くの園では保護者全体が集まる形式の会合が主流であり、特定の性別に限定した集会はあまり実施されていないことがわかる。

図表2-5-1 保護者の集会（複数回答）(n = 807)



### (2)保護者に対する男女共同参画社会の重要性の伝達

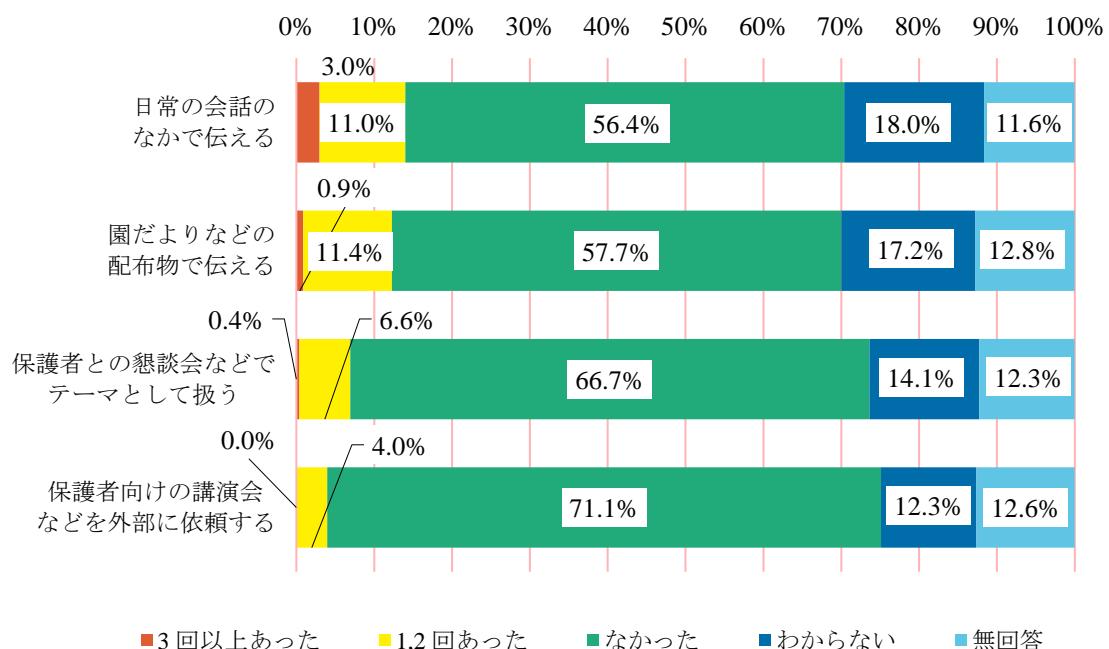
次に、保護者に対して男女共同参画社会の重要性をどのように伝達しているかについて尋ねる。図表 2-5-2 は、その実施状況を示している。

調査の結果、いずれの伝達方法においても「なかった」との回答が半数以上を占め、男女共同参画の重要性を伝える取り組みは十分に行われていないことがわかる。特に、「保護者向けの講演会などを外部に依頼する」については、「なかった」が 71.1% と最も高く、同様に、「保護者との懇談会などでテーマとして扱う」も「なかった」が 66.7% となり、男女共同参画をテーマとした講演会を実施したり、保護者会の議題として扱う機会は限定的であることが示されている。

また、「園だよりなどの配布物で伝える」についても、「なかった」が 57.7%であり、「1、2 回あった」(11.4%)、「3 回以上あった」(0.9%)という回答は比較的少数にとどまる。「日常の会話のなかで伝える」についても同様に、「なかった」が 56.4%と過半数を占め、「1、2 回あった」(11.0%)、「3 回以上あった」(3.0%)といった積極的な取り組みは少数であることがわかる。

さらに、本設問群については「わからない」および「無回答」の割合が一定程度見られることも特徴的である。「日常の会話のなかで伝える」では「わからない」が 18.0%、「無回答」が 11.6%であり、「園だよりなどの配布物で伝える」については「わからない」が 17.2%、「無回答」が 12.8%となっている。「保護者との懇談会などでテーマとして扱う」では「わからない」が 14.1%、「無回答」が 12.3%となり、「保護者向けの講演会などを外部に依頼する」については、「わからない」が 12.3%、「無回答」が 12.6%となっている。これにより、男女共同参画社会の重要性を伝える園内での具体的な取り組み状況を把握していない園関係者も一定数存在していることがわかる。

図表2-5-2 保護者に対する男女共同参画社会の重要性の伝達  
(n = 807)



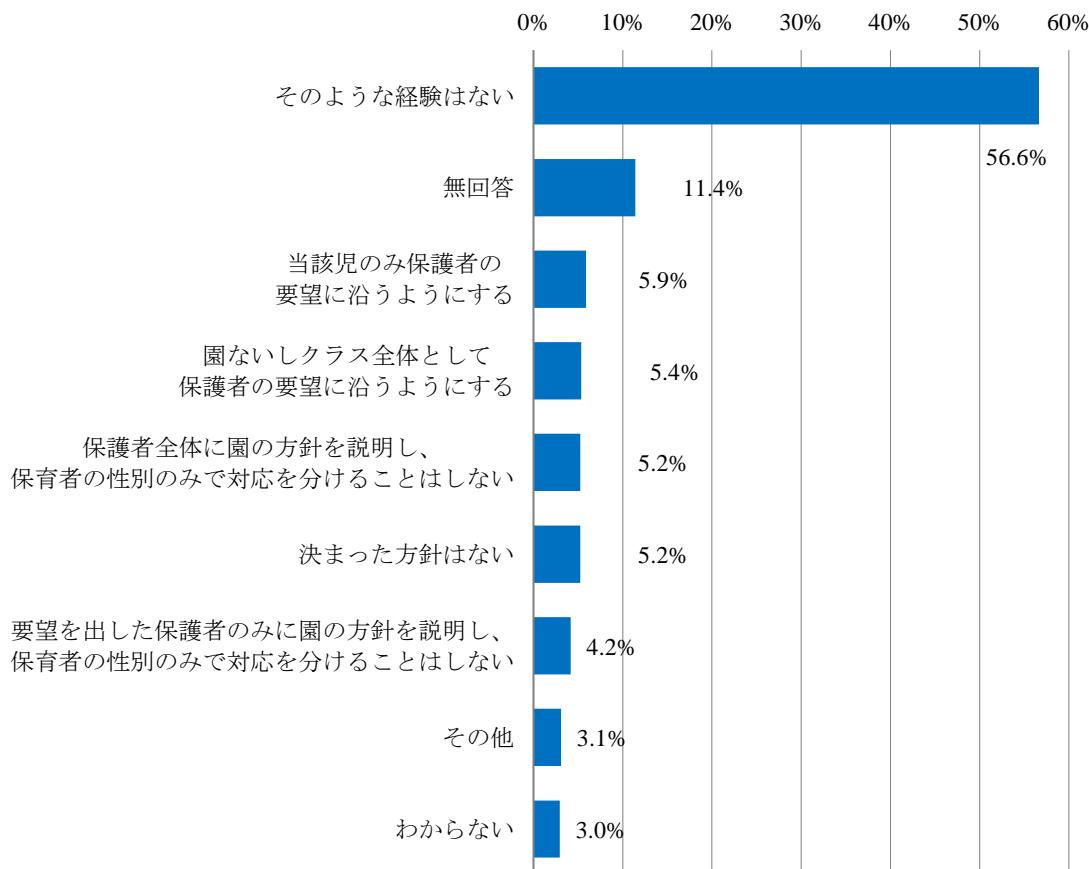
### (3) 保育者の性別のみを理由とした保護者からの要望や苦情への対応

さらに、保護者の性別のみを理由とした要望や苦情にどのように対応しているかについて尋ねる。図表 2-5-3 は、その結果を示している。

調査の結果、「そのような経験はない」とした回答者が 56.6%と最も多く、過半数の園で

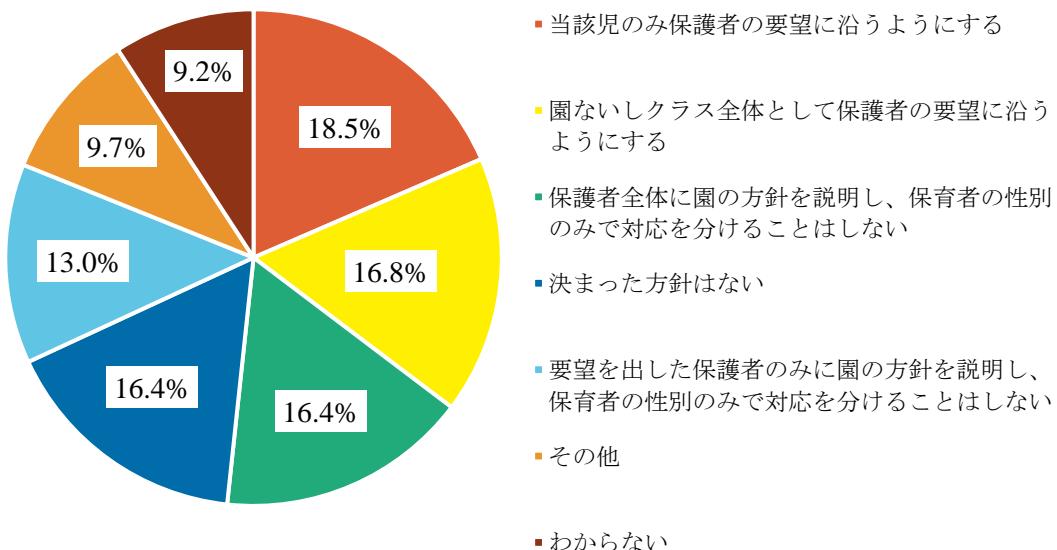
保護者の性別を理由とした要望や苦情への対応経験がないことがわかる。何らかの対応経験があるとする回答（無回答と「そのような経験はない」を除く割合）は 25.9%にとどまり、対応を求められる場面が限られていることがうかがえる。

図表2-5-3 保育者の性別のみを理由とした  
保護者からの要望や苦情への対応 (n = 745)



なお、無回答(11.4%)と「そのような経験はない」(56.6%)を除いた場合の割合で見ると、対応方法は回答者によって異なっている（図表 2-5-3b）。具体的には、最も多い対応は「当該児のみ保護者の要望に沿うようにする」(18.5%)と「園ないしクラス全体として保護者の要望に沿うようにする」(16.8%)であり、合わせて 35.3%の園が個別もしくは集団単位で要望に応じる対応を取っている。一方で、「要望を出した保護者のみに園の方針を説明し、保護者の性別のみで対応を分けることはしない」(13.0%)と「保護者全体に園の方針を説明し、保育者の性別のみで対応を分けることはしない」(16.4%)を合わせると、29.4%の園が方針の説明を通じて対応している。また、「決まった方針はない」とする園も 16.4%を占めしており、状況に応じて柔軟に対応している園も一定数存在していることがわかる。

図2-5-3b 保育者の性別のみを理由とした保護者からの要望や苦情への対応 (n = 238)



#### (4) 保護者に対する意識

さらに、保護者に対するジェンダー・ステレオタイプに関わる園関係者の意識について尋ねる。図表 2-5-4 は、その結果を示している。

まず、項目「自分は保護者の性別で態度を変えないように心がけている」では、「とてもそう思う」が 47.3%、「ややそう思う」が 26.9%となり、合わせて 74.2%の園関係者が性別による対応の違いを意識して避けていることが示されている。また、項目「保護者は、我が子に対して『男だから』『女だから』という意識を持ちがちである」では、「とてもそう思う」が 1.1%、「ややそう思う」が 30.4%となり、園関係者の約 3 割が保護者には性別による固定観念があると認識していることがわかる。

一方、子育ての役割分担に関する意識を見ると、「母親は自分のことよりも子育てを優先すべきだ」との項目では、「全くそう思わない」が 18.5%、「あまりそう思わない」が 22.2%となり、約 4 割の園関係者が母親が自分のことよりも子育てを優先すべきとは考えていないことがわかる。また、「父親は自分のことよりも子育てを優先すべきだ」との項目でも同様の傾向が見られ、母親よりは少ないが、約 3 割強の園関係者が父親が自分のことよりも子育てを優先すべきとは考えていないことが分かる。

また、項目「共働きで子供の具合が悪くなった時、母親が看病するべきだ」では、「とてもそう思う」(0.1%)、「ややそう思う」(2.0%) を合わせると 2.1%であり、また、「共働きで子供の具合が悪くなった時、父親が看病するべきだ」では、「とてもそう思う」(1.1%)、「ややそう思う」(2.4%) を合わせると 3.5%であり、両項目ともに、この考えに

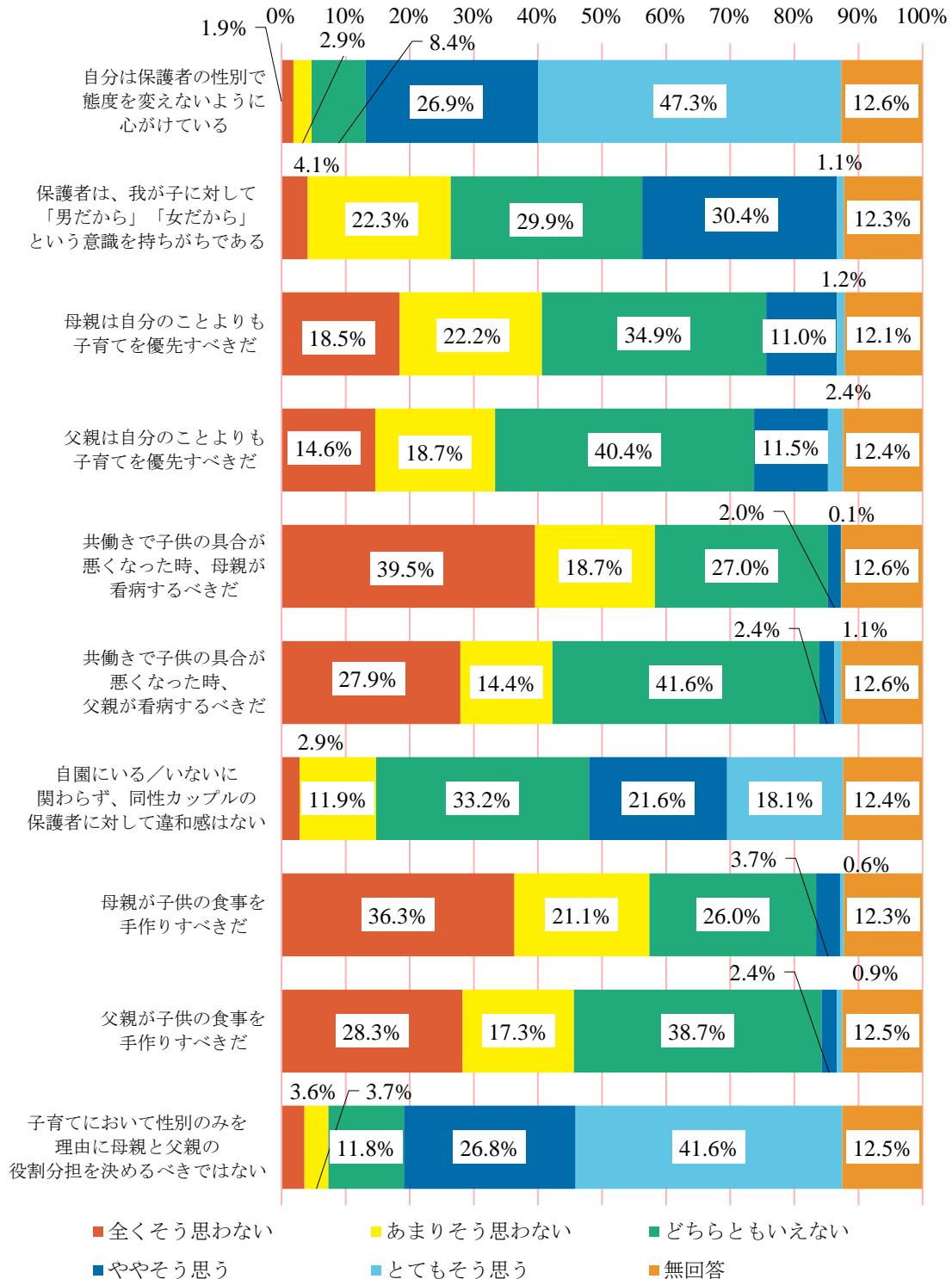
肯定的な園関係者は非常に少ない。

さらに、項目「自園にいる／いないに関わらず、同性カップルの保護者に対して違和感はない」では、「とてもそう思う」(18.1%)、「ややそう思う」(21.6%)を合わせると、39.7%の園関係者が同性カップルの保護者を受け入れる姿勢を示している。一方で、「どちらともいえない」が 33.2%となり、三分の一の園関係者ではまだ意見が定まっていないことがわかる。

子供の食事に関する役割については、「母親が子供の食事を手作りすべきだ」との項目で、「とてもそう思う」(0.6%)、「ややそう思う」(3.7%) を合わせると 4.3%であり、また、「父親が子供の食事を手作りすべきだ」では、「とてもそう思う」(0.9%)、「ややそう思う」(2.4%) を合わせると 3.3%であり、両項目ともに、この考えに肯定的な園関係者は非常に少ない。

最後に、「子育てにおいて性別のみを理由に母親と父親の役割分担を決めるべきではない」との項目では、「とてもそう思う」(41.6%)、「ややそう思う」(26.8%)を合わせて、68.4%の園関係者が性別による役割分担を否定的に捉えていることがわかる。

図表2-5-4 保護者に対する意識 (n = 807)

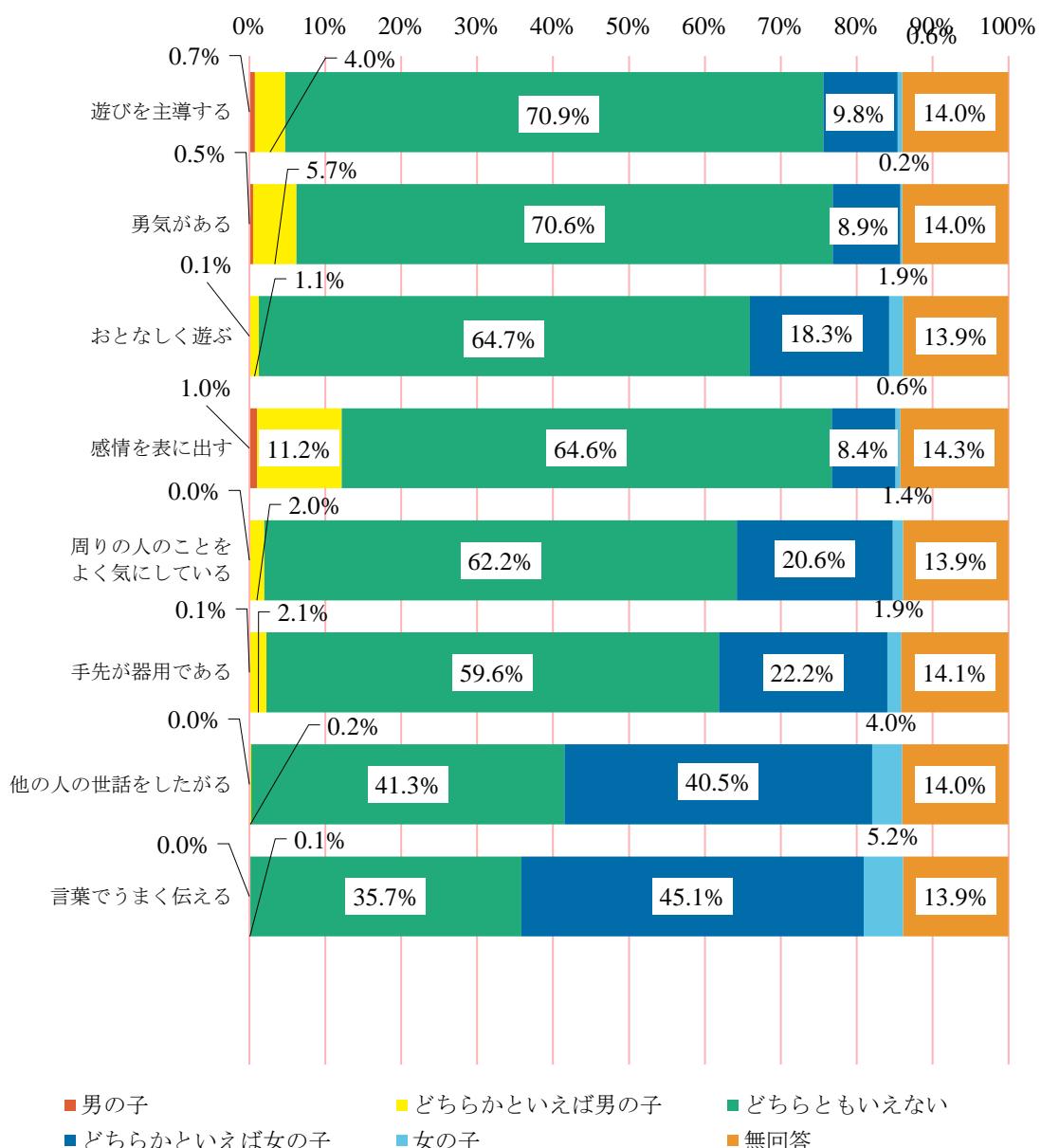


## 6. 回答者自身の考え方

### (1) 子供の一般的な様子

「あなたのこれまでの経験（以前の職場や、職場以外の経験を含みます）を踏まえた際、子供の一般的な様子として、以下の項目は男女どちらに見られる傾向にあると思いませんか」という問に対しても、8つの設問について、概ね「どちらともいえない」という回答がもっとも多かったが、「言葉でうまく伝える」については「どちらかといえば女の子」が45.1%と最も多く、「どちらともいえない」は35.7%となっている。

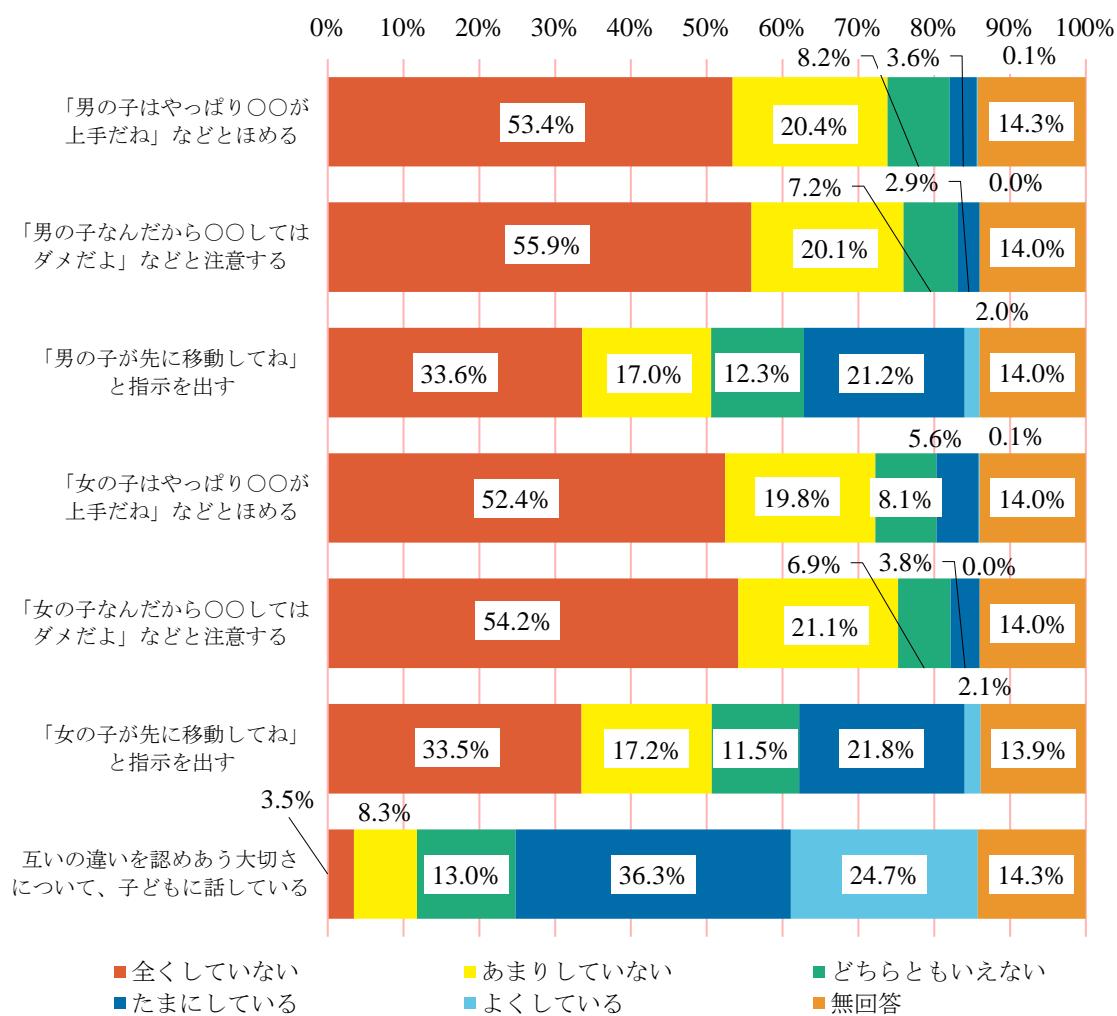
図表2-6-1 子供の一般的な様子 (n = 807)



## (2)子供への対応

「男の子」「女の子」といった性別に基づいて「ほめる」あるいは「注意する」といった対応は、「全くしていない」という回答が半数を超えており、「『男の子が先に移動してね』と指示をだす」、「『女の子が先に移動してね』と指示を出す」を、「全くしていない」のはそれぞれ33.6%、33.5%と3割程度、「たまにしている」が21.2%、21.8%であり、2割程度は性別に基づいた指示を出しているが、先に移動するよう指示する対象として男女どちらを取り上げるかについては、ほとんど差はない。

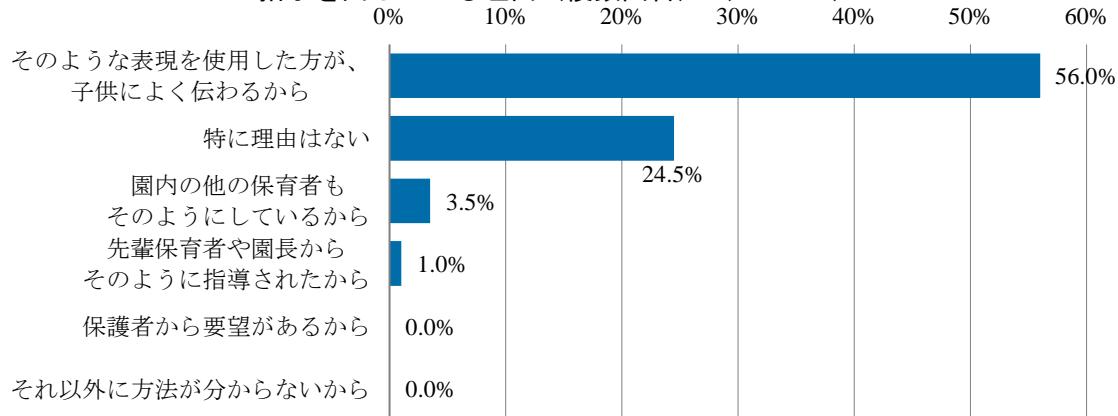
図表2-6-2 子供への対応 (n = 807)



### (3)性別で移動を促す理由

性別で移動を促すことを「たまにしている」もしくは「よくしている」と回答した保育者は、その理由として、「そのような表現を使用した方が、子供によく伝わるから」と回答した割合が 56.0%（複数回答）である。「特に理由はない」も 24.5%いる。

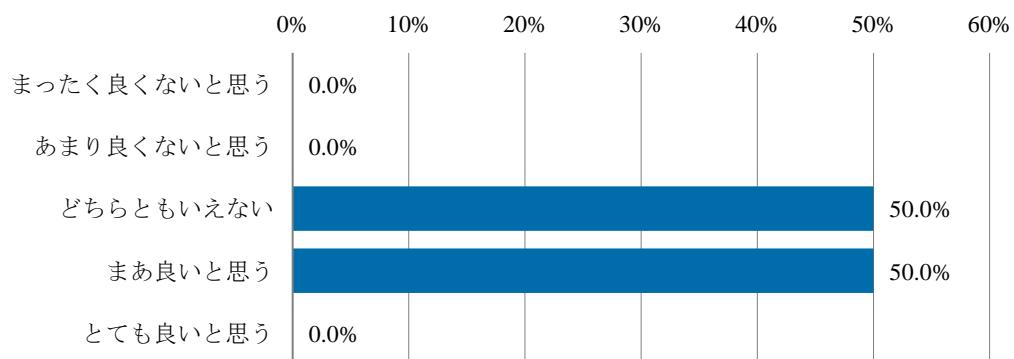
図表2-6-3 「男の子／女の子が先に移動してね」と指示を出している理由（複数回答）（n = 200）



### (4)性別で移動を促す理由（他の保育者・保護者からの影響）

性別で移動を促す理由について、他の保育者や保護者からの影響に対する考えは、「どちらともいえない」と「まあ良いと思う」が半々であった。

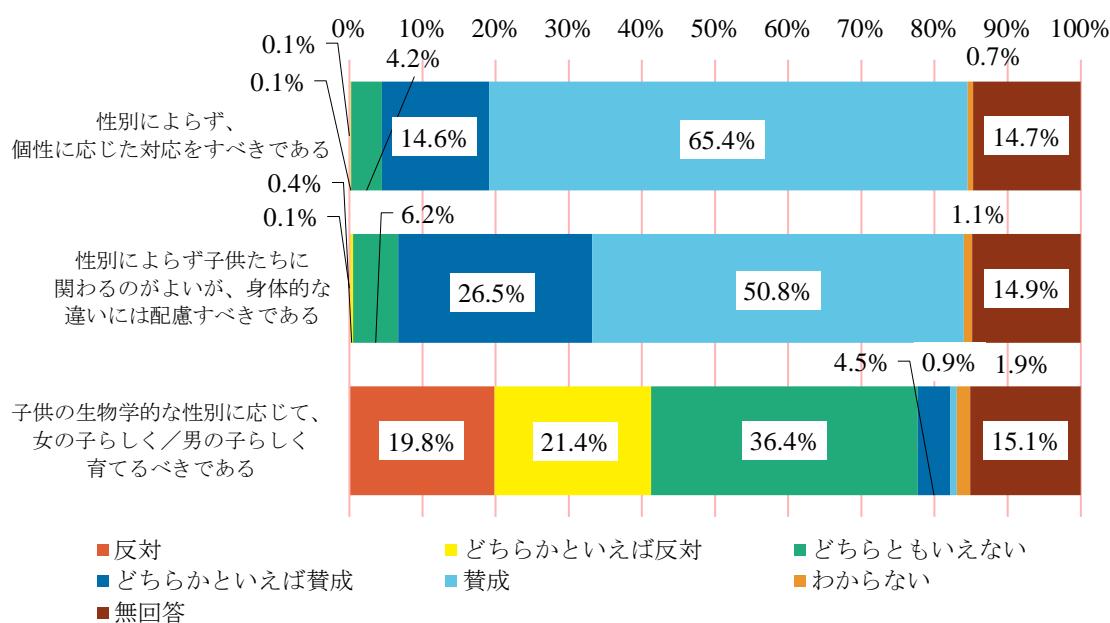
図表2-6-4 「園内の他の保育者もそのようにしているから」、「先輩保育者や園長からそのように指導されたから」、「保護者から要望があるから」に対する考え方（n = 8）



### (5) 子供への対応に関する考え方

「性別によらず、個性に応じた対応をすべきである」、「性別によらず子供たちに関わるのがよいが、身体的な違いには配慮すべきである」はともに、「賛成」 + 「どちらかといえば賛成」を合わせた肯定的な回答がそれぞれ 80.0%、77.3%である。また、「子供の生物学的な性別に応じて、女の子らしく／男の子らしく育てるべきである」は、「反対」 + 「どちらかといえば反対」を合わせた否定的な回答が 41.2%である。

図表2-6-5 子供への対応に対する考え方 (n = 807)



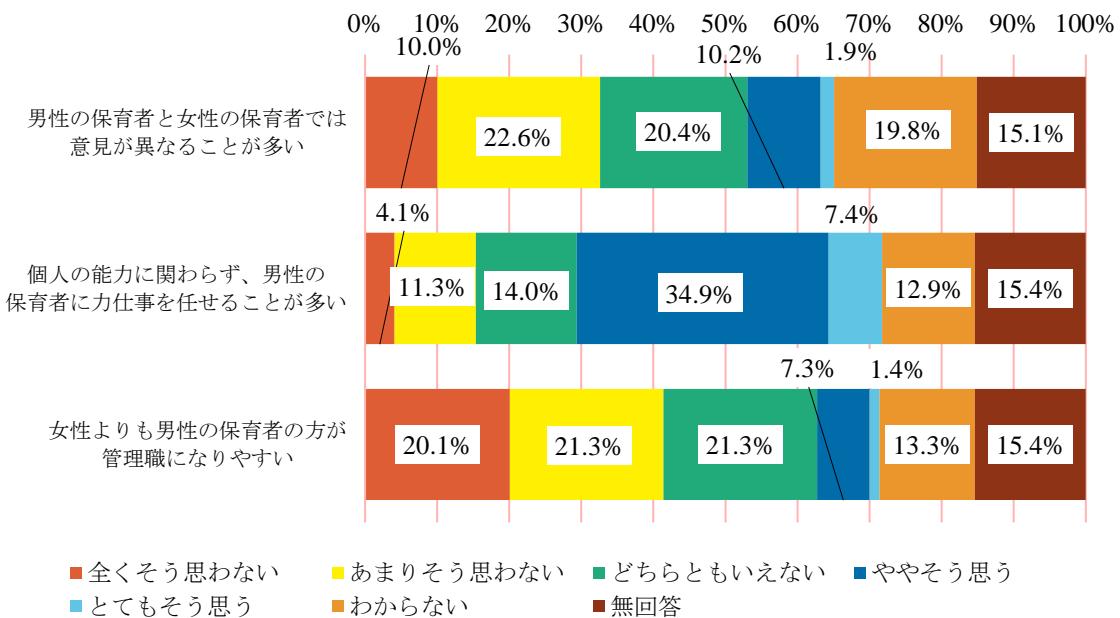
### (6) 保育者の職場における性別意識

「男性の保育者と女性の保育者では意見が異なることが多い」は、「全くそう思わない」 + 「あまりそう思わない」と否定的な意見が 32.6%、「どちらともいえない」が 20.4%となっている。

「個人の能力に関わらず、男性の保育者に力仕事を任せることが多い」は、「とてもそう思う」 + 「ややそう思う」が 42.3%である。

「女性よりも男性の保育者の方が管理職になりやすい」は、「全くそう思わない」と「あまりそう思わない」で 41.4%と否定的な意見が多いが、「どちらともいえない」も 21.3%となっている。

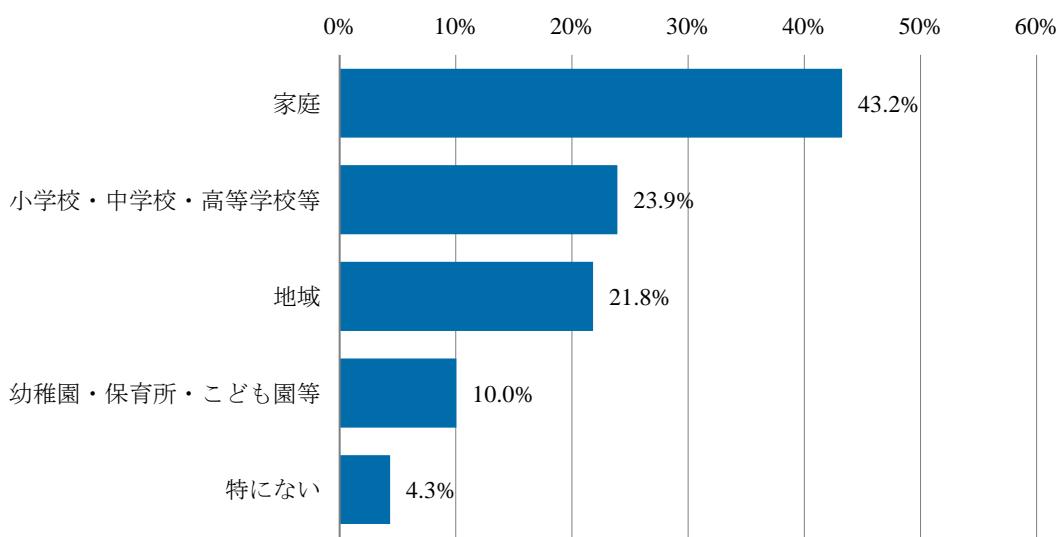
図表2-6-6 保育者を取り巻く関係 (n = 807)



#### (7)男女共同参画に向けて

男女共同参画社会の実現に向けて変化が重要だと思われる場所は、「家庭」が43.2%と最も多く、「小学校・中学校・高等学校等」が次いで23.9%となっている。

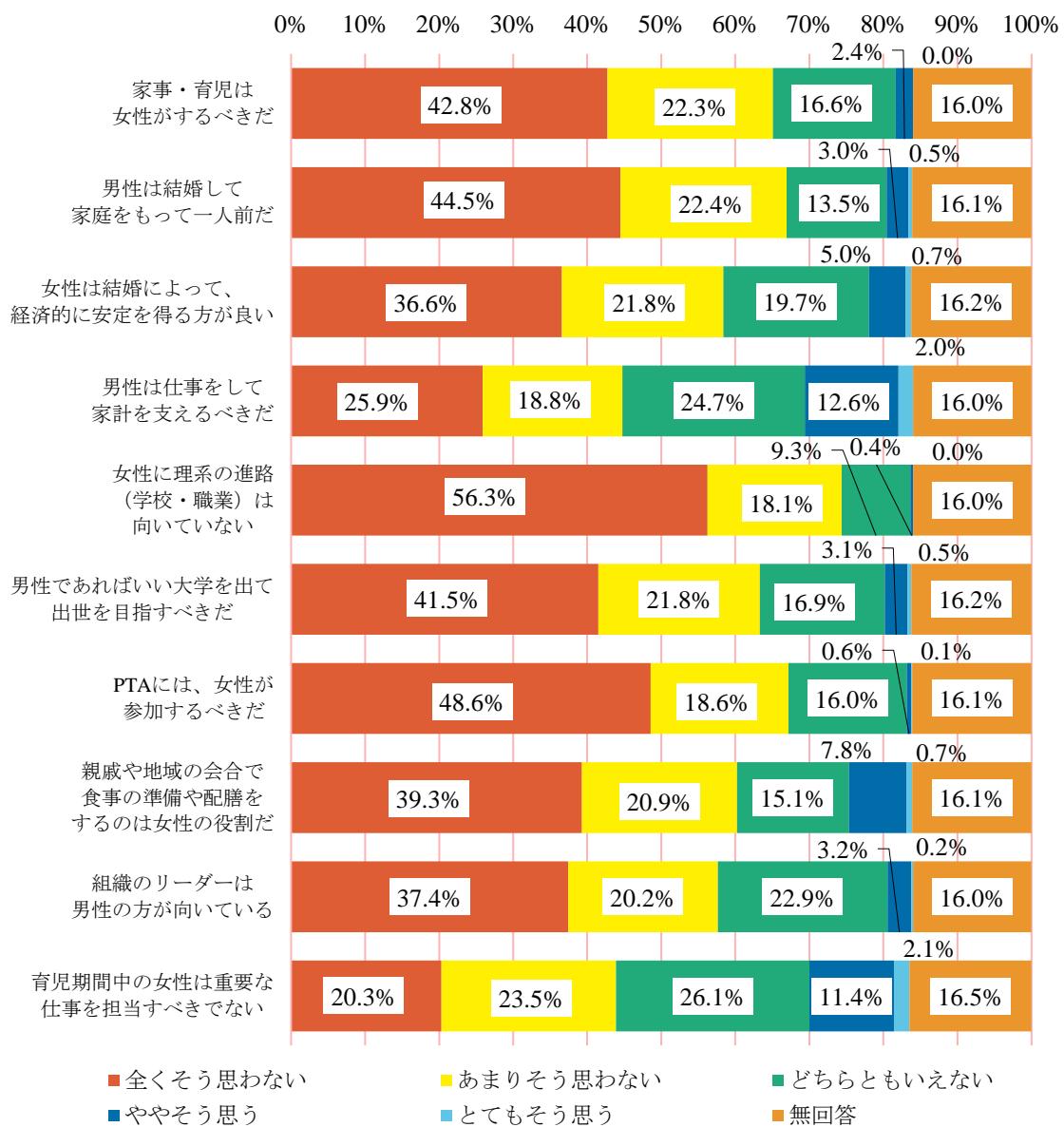
図表2-6-7 男女共同参画社会の実現に向けた変化が  
重要だと思われる場所（複数回答）（n = 807）



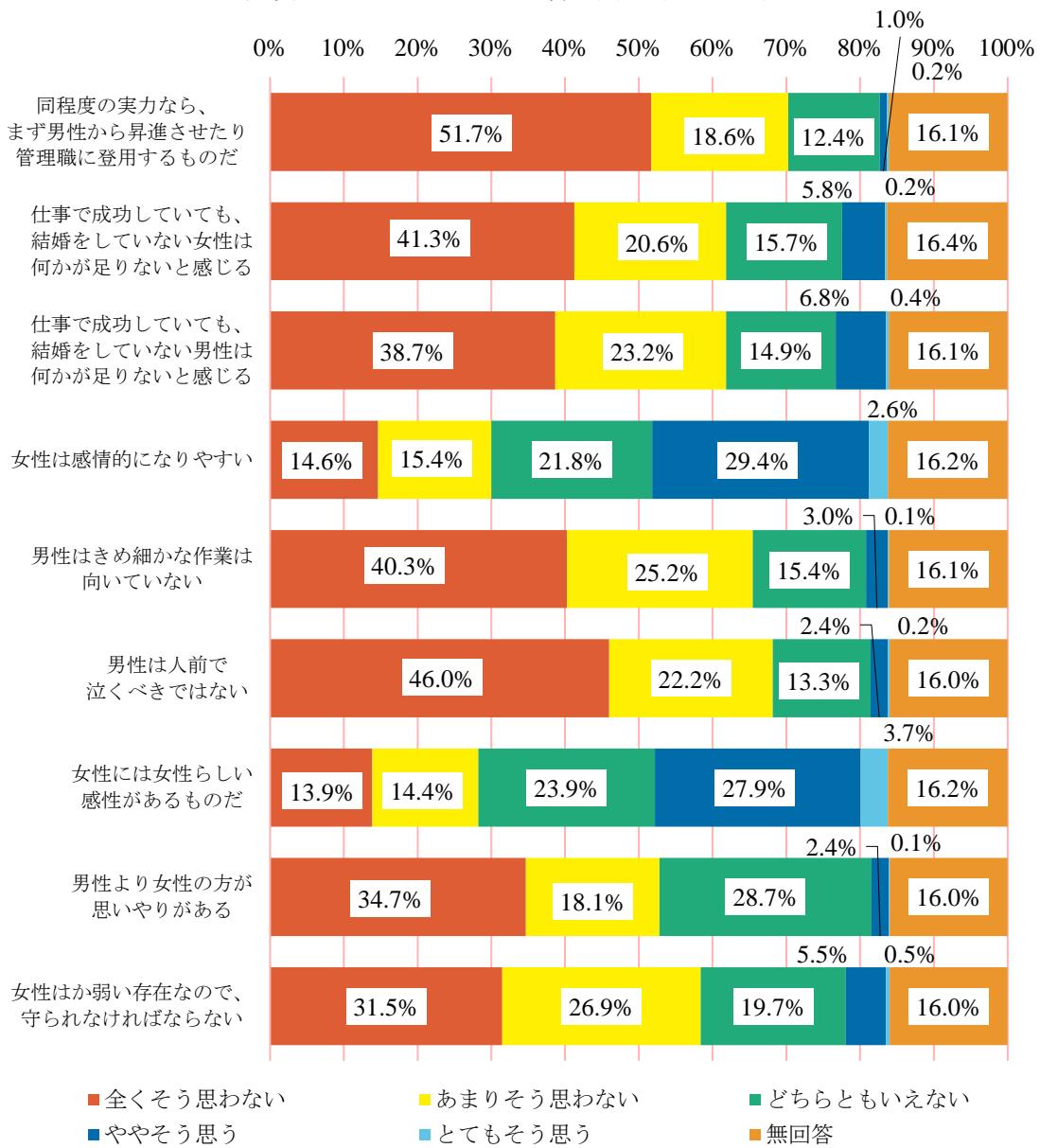
#### (8)性別役割意識

内閣府男女共同参画局が実施した「性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に関する調査」と同様の、性別役割意識に関する設問への回答が図表 2-6-8、2-6-9 である。「性別役割意識」について、概ね「全くそう思わない」という回答が多くなっているが、「女性は感情的になりやすい」「女性には女性らしい感性があるものだ」については、「ややそう思う」がそれぞれ 29.4%、27.9% であり、他の項目と比べて割合が多い。

図表2-6-8 ジェンダー意識（1）（n = 807）



図表2-6-9 ジェンダー意識 (2) (n = 807)



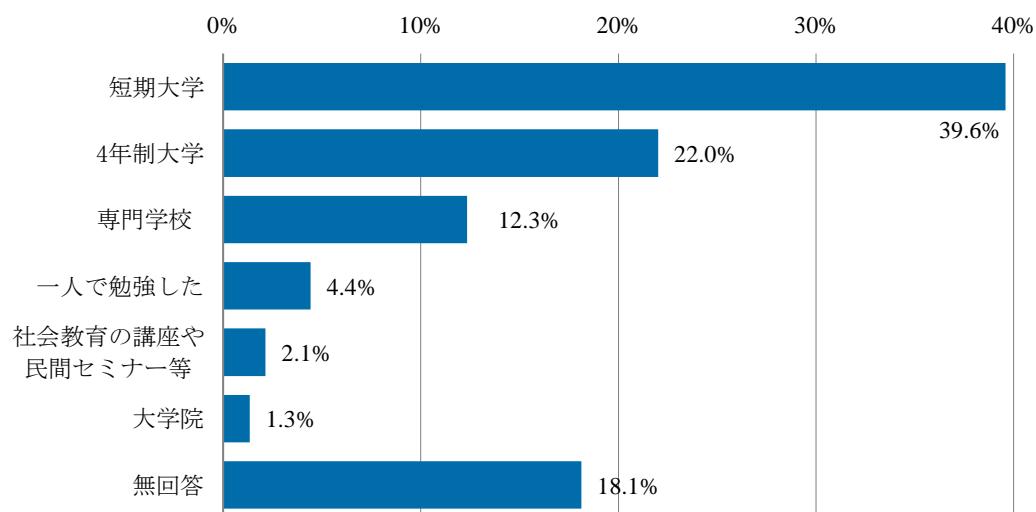
## 7. 保育に関するこれまでの学び

### (1) 幼児教育／保育について主に学んだ場所

① 「施設長・園長」「副施設長・副園長・教頭」「幼稚園教諭・保育士・保育教諭」

回答者のうち、「施設長・園長」「副施設長・副園長・教頭」「幼稚園教諭・保育士・保育教諭」が、幼児教育／保育について主に学んだ場所は、「短期大学」39.6%、「4年制大学」22.0%の順に多かった。

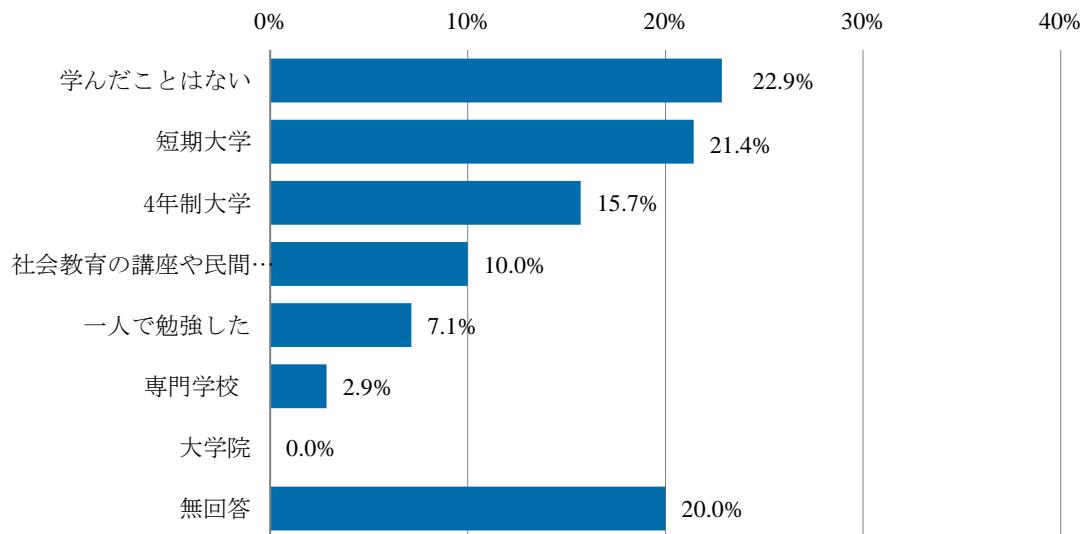
図表2-7-1 幼児教育／保育について学んだ場所  
(「施設長・園長」「副施設長・副園長・教頭」「幼稚園教諭・保育士・保育教諭」) (n = 745)



② 「看護師・保健師」「栄養士・調理師」「事務職員」「その他」

回答者のうち、「看護師・保健師」「栄養士・調理師」「事務職員」「その他」が、幼児教育／保育について主に学んだ場所は、「学んだことはない」が22.9%と最も多く、次いで「短期大学」21.4%、「4年制大学」15.7%の順に多かった。

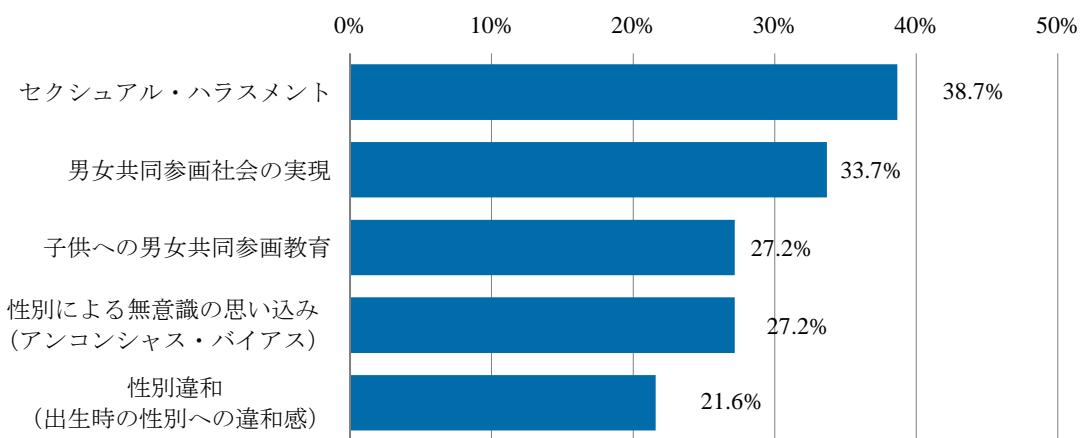
図表2-7-2 幼児教育／保育について学んだ場所  
(「看護師・保健師」「栄養士・調理師」「事務職員」「その他」)  
(n = 70)



## (2) 幼児教育／保育について、学んだことのある内容

幼児教育／保育について学んだことがある人に、「以下の内容について学んだことはあるか」聞いた設問では、「セクシュアル・ハラスメント」38.7%、「男女共同参画社会の実現」33.7%の順に多くなっている。

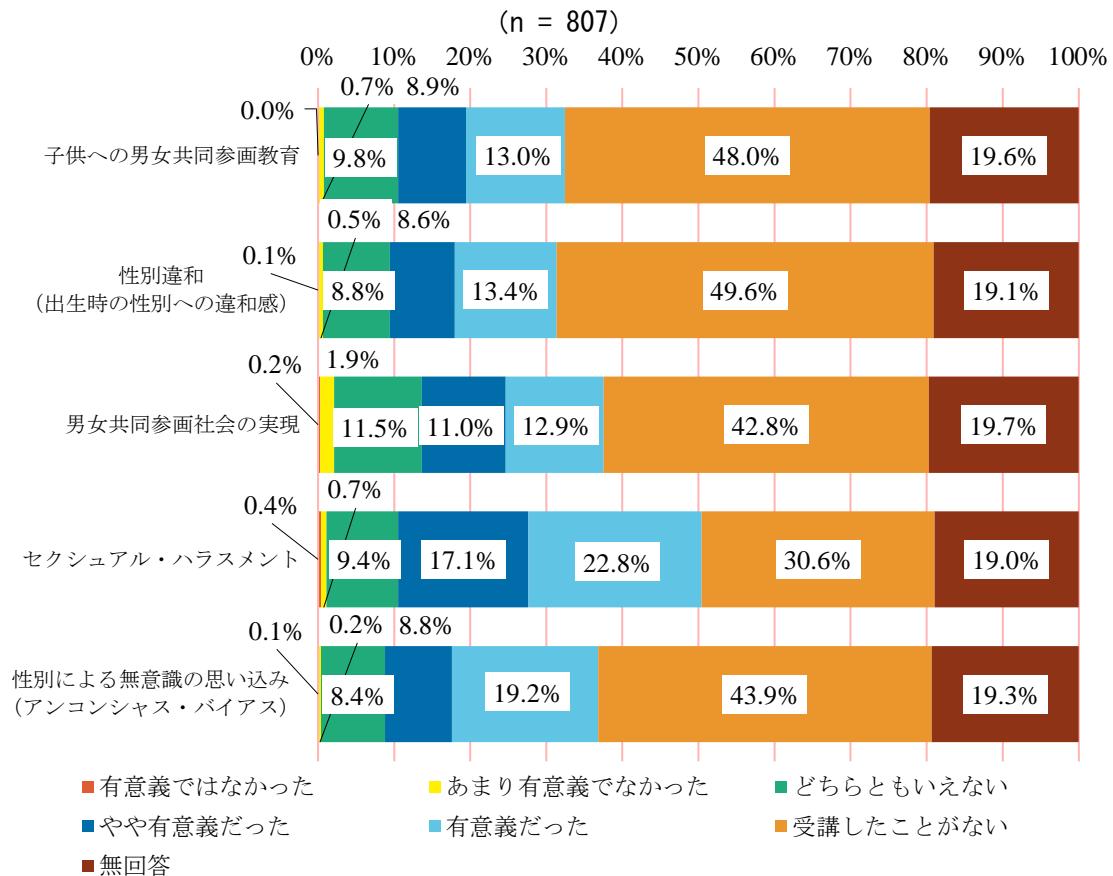
図表2-7-3 学んだことのある内容（複数回答）（n = 644）



### (3)研修経験とその評価

男女共同参画に関する研修5項目（「子供への男女共同参画教育」、「性別違和」、「男女共同参画社会の実現」、「セクシュアル・ハラスメント」、「性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）」）については、いずれも「受講したことがない」が最も多かったが、「セクシュアル・ハラスメント」について「受講したことがない」のは30.6%と、比較的少なかった。

図表2-7-4 現在の職に就いてから受講したことのある研修とその評価

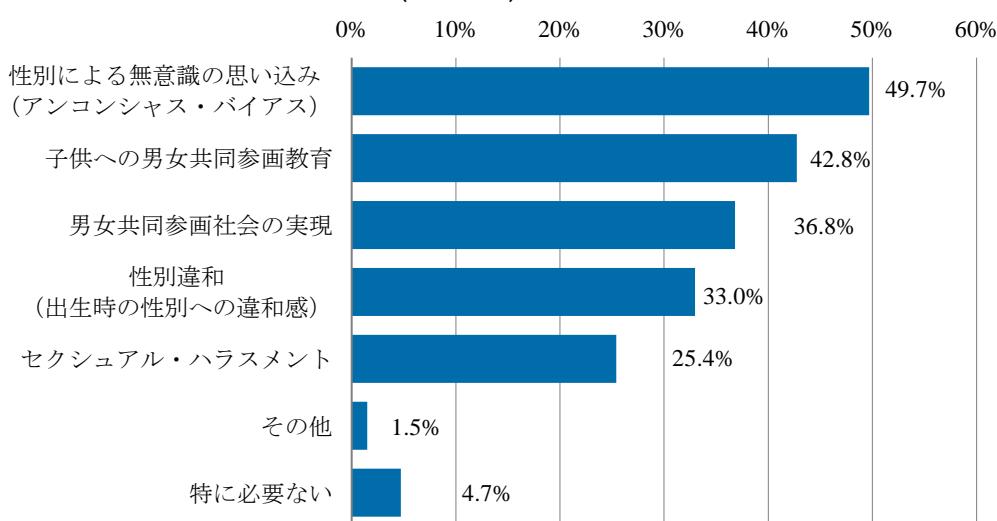


#### (4)研修で取り扱うとよいと思う内容

男女共同参画に対する意識を高めるため、研修で取り扱うとよいと思う内容は、「性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）」が49.7%と最も多く、次いで「子供への男女共同参画教育」が42.8%であった。

図表2-7-5 研修で取り扱うとよいと思う内容（複数回答）

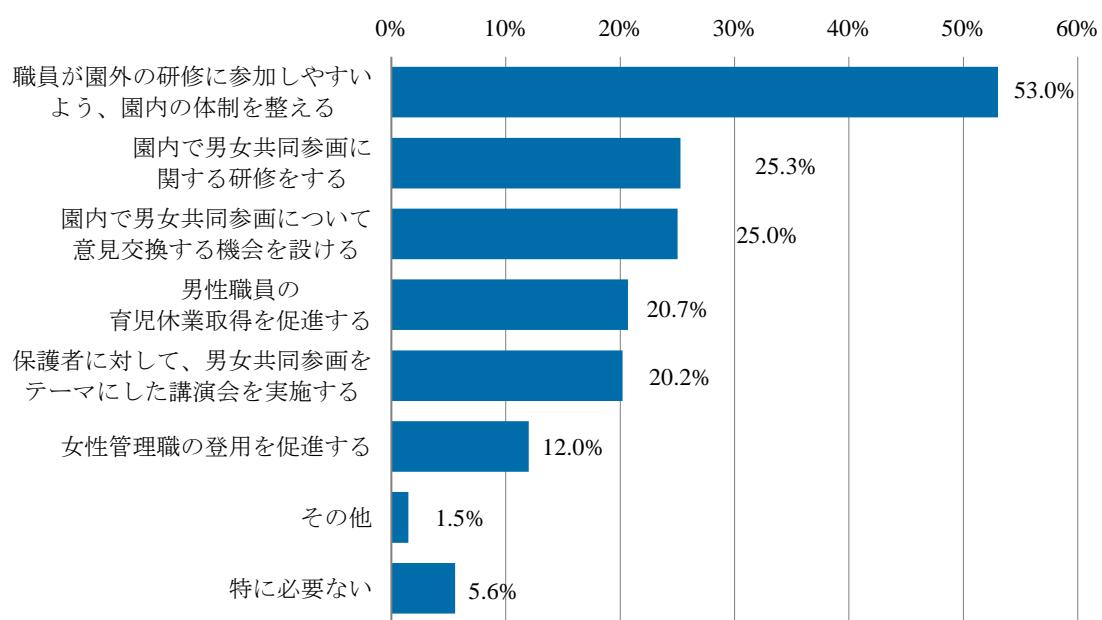
(n = 807)



### (5)園内で取り組めるとよいこと

男女共同参画に対する意識を高めるため、園内で取り組めるとよいことは、「職員が園外の研修に参加しやすいよう、園内の体制を整える」が 53.0%と最も多く、続いて「園内で男女共同参画に関する研修をする」 25.3%、「園内で男女共同参画について意見交換する機会を設ける」が 25.0%だった。

図表2-7-6 園内で取り組めるとよいこと（複数回答）（n = 807）



## 第3章 インタビュー調査結果

### 1. A 地方国立大学附属幼稚園

訪問：2024年12月18日（水）

#### 園の概要・調査の概要

従前より森での活動をはじめとして戸外での保育を重視してきた、定員80名で3歳児から5歳児が在籍する園である。協力者は5歳児学級の担任であり、本園での勤務は3年目である。保育中から午前保育の終わる頃まで、5歳児学級を中心に園舎・園庭を見学し、その後にインタビュー調査を実施した。

#### 保育での取組と実態 1. 多様性や役割分担

具体的な子供の様子や実践での経験を中心にインタビューを行った。例えば飼育している鳥との関わりを通じて、子供が鳥一羽一羽に特性があることに気付く様子が語られた。見学中も、降園前の集まりの際に飼育当番の子供が「名前を付けました」と、鳥の性別にも言及しながら、皆に伝えていた。またジェンダーに限らず、例えば大学の留学生が来て保育に入り、大学にも日常的に遊びに行くことやその際の子供の発話、また外国の料理に関心を持った際に実際に店に行って交流したことなどが語られた。さらに子供からクリスマス会の希望があった際、異なる文化の子供が在籍していることを背景として、「クリスマス」ではなく「お楽しみ会」をするということやその意味について子供と話すなど、多様な文化があることについて理解を促していることも語られた。

#### 保育での取組と実態 2. ジェンダーに関わること

ジェンダーに特化していることではないが、色々な選択肢を用意することを心がけている。「この子はこう思うだろう」「こういう一面がある」「こういうことが好き」ということを大事にし、肯定している。個人を識別する際に使用するシールの絵柄に関しては前任園での経験として、入園前に保護者がその子の好きなものを手描きしてラミネートするという方法も紹介された。

室内環境の充実の一環として肌の色や性別の異なる人形を取り入れた。製品として実際はシワや髪の毛などのつくりは同じはずだが、子供たちは「この子は髪の毛が多い」など、区別していたという。

子供の実態として、指定がなくても子供たち自身が置き場所を男女で分けたり、遊びの中で役割を意識していたりすることがある。また上記の人形についても、服装はジェンダーに基づくイメージで着せているようにも感じることである。保育者として、無理な介入をすることはないが、子供たちがどう考えているのかを探るようにしている。また絵本について、ジェンダーに関わる内容から子供たちの感想を知るという意味での活用をすることもある。なお、着替えやトイレなど生活面では必要に応じて区別し、体を守ることも伝えている。

## 2. B 地方公立幼稚園

訪問：2024年12月19日（木）

### 調査概要

20世紀初頭に設立された公立幼稚園。地域自体が、緑豊かな田園地域にあり、自然に恵まれた場所にある。現在の園児数は、4、5歳児混合学級で十数名程度、教職員4名（園長1名、教諭2名、園務員1名）の小規模園である。最初に、園内を見学し、その後にインタビュー調査を実施した。

### 教育目標・1日の流れ

・教育の目標としては、「笑顔」、「仲間」、「活動」をキーワードとしている。2学期は、運動遊びをテーマとしていて、遊戯室を使って子供自身が好きな運動を選んで活動している。自由な遊びの時間では、子供のやりたいことを大切にしている。遊びでは男女関係なく、一緒に遊んでいる。

### ジェンダーに関連すること

・個人を識別する際に使用するシールの絵柄には動物と植物があるが、学年や性別により分けているのではなく、見分けがつきやすいように先生が決めている。来年度は子供にシールを決定させる予定。

・防災頭巾にはピンクと水色があるが、女児がピンク、男児が水色というわけではなく、保護者に色を決めてもらっている。家庭で用意する場合もある。

・言葉の重要性を意識している。例えば、活動の中で、もしピンクを選んだ男児がいた場合に、その子供に対して「男なのにピンク？」等言う子供がいたら、声を掛け、その子供の自由であることを伝えることにしており。決めつけないことが重要だと思う。このように考えるようになってきた背景には、時代の流れもあるし、さまざまな研修を受けてきたことによる学びもあると思う。

・実際の例として、男児が遊びの中で、長い髪のかつらをつくっていたことがあった。そのとき、子供達の中から、それがおかしい、という指摘はなく、本人もおかしいというような意識はなく、楽しんでいた。子供達の中で、ジェンダーにかかる固定的な観念がそれほどないようと思われる。

・ときどき、保護者から「男の子だから」といったような言葉がしばしば聞こえてくることもある。他方で、「こういうことを言っちゃダメですね」という言葉も聞かれるようになっていて、保護者も変わりつつあるという気がしている。

### **3. C 都市部私立保育所**

訪問：2024年12月20日（金）

#### **園の概要・調査の概要**

約40年前に共同保育所（認可外保育施設）として設立され、15年ほど前に運営母体がNPO法人化した後、子ども・子育て支援新制度以降に認可保育所となった。定員計24名（各年齢4名）、施設長1名、常勤職員9名程度の小規模保育所である。

#### **園の取組と実践**

##### **1. 父親の子育て参加の推進：**

父親が育児に積極的に関与する仕組みを整備。初回説明会への父親参加を必須とし、誕生日会や子育て会議にも父親の参加を促進。

##### **2. 名前で呼び合う文化の推進：**

子供と職員の関係を対等にするため、「先生」ではなく名前（○○さん）や愛称（あだ名）で呼び合う文化を導入。性別や役割に縛られないコミュニケーションを実践。

##### **3. ロッカー等の工夫：**

学年別に色分けしたシールに名前を書いて、ロッカーに貼っている。

##### **4. トイレの設計：**

子供、職員共に男女共通のトイレを使用。幼児クラスには男児用小便器の横に仕切りのついた個室が設置されており、プライバシーの保護に配慮している。

##### **5. 対話を通じたジェンダー意識の形成：**

月に1回ほどの頻度で「話し合いタイム」を設け、ジェンダーに関するテーマ（例：「強さと弱さ」「体の違い」など）について子供たち自身が自分なりの言葉で話し合う機会を提供。絵本を活用しながら固定観念を解消し、「我慢する力」や「気持ちを言葉にする力」も強さの一部であることを伝える。

##### **6. ステレオタイプを覆す絵本の選書と活用：**

強い女の子が主人公の童話や、感情を表現する男の子が登場する絵本等、多様な物語を子供たちに紹介し、性別に基づく固定観念にとらわれない価値観を自然に学べるよう工夫。

##### **7. 職員間のジェンダー意識の共有：**

子供や保護者の気になる振る舞いや発言があった際には職員ミーティングで共有し、意識のばらつきを少なくする工夫を実施。例えば「可愛い」「かっこいい」といった表現や、子供たちとの接し方について適切な対応を議論することで、統一した保育方針をもつようしている。

## 4. D 地方私立保育所

訪問：2024年12月26日（木）

### 施設概要・調査概要

個人を識別する際に使用するシールにジェンダーバイアスを避ける絵柄を導入している。近隣に大学がある閑静な住宅地にある。調査では施設長と保育者にインタビューを行い、その後、施設内を見学した。

### 保育での取組 1. 保育方針・特徴

- ・子供それぞれに応じた保育を大切にするという保育方針であり、とりわけジェンダーについて特別に考えているということはない。
- ・4・5歳児は、異年齢保育を実施している。
- ・家庭を再現したような保育環境であることを重視している。園では、子供の発達に応じた手作り玩具を取り入れているが、保護者に子供の生活用品等について、「手作り」を求めるとはない。保育所として保護者の負担にならないようにしている。
- ・研修の機会は多々あり、保育者からは、具体的な保育場面を用いた、ジェンダーに限らない人権教育の事例が紹介された。

### 保育での取組 2. ジェンダーに関わる環境等

- ・ジェンダーバイアスを避ける絵柄のシールの導入を提案した保育者はすでに退職し、施設長も当時とは交代しているため、導入当時のことは分からぬが、現在、子供も保育者も保護者も、特に違和感なく受け止めている。どの子供がどの絵柄のシールにするのかは、保育者が決めている。子供が選べるとよいが、人数が多く難しい。4・5歳児は絵柄のシールでなく名前をひらがなで表記している。見学中は、子供たちが調査者を囲み、嬉しそうに自分の絵柄について説明してくれる場面が多くあった。
- ・現在は男性保育士はいないが、以前は数名勤務していた。
- ・トイレは男女同室である。洋式トイレ（大人は上から中を見ることができる）に、内側からかかる鍵を付けることを現在検討している。「いきなり扉を開けられない」という、子供の安心を確保するためである。また、援助しやすくするために工夫して設置されたのだろうが、一つだけ囲いの無い便器があり、その周囲に目隠し等を置くことを検討している。

## 5. E 都市部私立保育所

訪問：2024年12月26日（木）

### 園の概要・調査の概要

新しく開発された地域（3000～4000世帯が新しく入居）に今年度開園した園であり、0～5歳児の合計は最大200名以上となる予定である。ワンフロア（1階）で広く、5歳児のみ別棟（分園）になっている。保護者の勤務時間は幅広いため長時間開園している。午睡中～午睡後の時間帯に訪問しインタビューを実施した。協力者は、施設間の研修も担当している施設長である。

### 保育での取組

- ・全体として「一人の子として見る」ということを大切にしている。名前については全員、名前表記で絵柄等は用いていない。絵柄の方が便利という話もあったが、子供が「違うものが良かった」と後から言った場合に対応できないため用いていない。
- ・特にジェンダーに関わる実践では、子供の理解を探るために赤ちゃんの性別について尋ねてみた際、理解の仕方が様々であり、当たり前ではないことに気付いたとのこと。また、絵本も活用されており子供たちが読めるところに置いたり、感想を聞いたりしている。絵本が出版された時代によっては、今となっては疑問の生じないような服装のテーマがメッセージ性を持って取り上げられていることもあり、子供がどのように捉えているのかを知る機会となっているようである。同時に、体を触ったり傷つけたりしないことについて看護師による保健活動で伝えている。なお、トイレ等の環境自体を特別にしているわけではない。
- ・さらに子供の実態として、4～5歳が話す将来の夢が男児・女児で違うとのことで、園内に男性保育者が複数人いるにも関わらず女児のみが「保育園の先生」を挙げることなどが言及された。

### 保育者の研修

施設長自身が法人内の他園との研修及び園内での研修をともに担当しているため、その実態と課題について伺った。

具体的には、水遊びが始まる前の6～7月頃に、研修で子供の人権について考える機会をもっている。また10月頃に、不適切保育に関する研修を行い「適切な保育とはなんだろう」ということを話し合った。課題として、施設長が職員に伝えて共感を得る形であるが、職員自身が関心をもって、調べたり試したりしてみてほしいことが挙げられた。その他には法人全体で、自分で選んで受けられる1つ5～10分程度のオンラインコンテンツが役立っていることや、男性保育者間で交流できる研修もあることがわかった。

## 参考資料1 アンケート調査票

0% アンケートの進捗状況

このたびは、「幼児期における固定的な性別役割分担意識及びアンコンシャスバイアス形成に関する調査研究」にご協力いただき、ありがとうございます。

本調査は、「女性版骨太の方針2024」（すべての女性が輝く社会づくり本部・男女共同参画推進本部決定）において、「未就学児がジェンダーバイアスにより自分の可能性を狭めてしまわないよう、幼児期の教育現場等における固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の解消に資する方策について調査研究を行う」と記載されていることを踏まえ、文部科学省「令和6年度女性の多様なチャレンジに寄り添う学びと社会参画支援事業（固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込みの解消に資する調査研究）」の一環として実施するものです。幼児期におけるジェンダーに関わる園環境の実態や実践の工夫、先生方のお考え等について伺い、国内における実態と課題について明らかにすることを目的としています。

- 【11月30日（土）】までにご回答いただけますと幸いです。
- お一人あたり1回のご回答をお願いいたします。
- 回答は任意であり、参加されないことによる不利益はございません。
- 回答を中断して、後ほど再開することもできます。その場合、電源を切る際にもアンケートの画面（ブラウザ）は閉じないようにしてください。
- パソコン、スマートフォンのいずれでも、分析および結果の公表において園名や個人が特定されることはございません。
- 貴園での実践にお役立ていただけますよう、研究結果をまとめた報告書を後日開示いたします。

ご協力の程、何卒よろしくお願ひいたします。

調査実施代表者:  
小玉 亮子（お茶の水女子大学 教授）

→ >

1% アンケートの進捗状況

\*Q1. 質問項目を絞るために、あなたの現在の職場での職種に当てはまるものを【すべて】選択してください。

- 施設長・園長
- 副施設長・副園長・教頭
- 幼稚園教諭・保育士・保育教諭
- 看護師・保健師
- 栄養士・調理師
- 事務職員
- その他

< → >

3% アンケートの進捗状況

セクション1. あなたがお勤めされている園の、子供たちの様子についてお伺いします。

Q2. 子供たちが園内で自由に遊んでいるときの様子について、それぞれの項目がどの程度当てはまるか、最も近いものを1つずつ選択してください。

	全くあてはまらない	あまり当てはまらない	どちらともいえない	やや当てはまる	とてもよく当てはまる	わからない
男女関係なく一緒に遊んでいる	<input type="radio"/>					
同性の子供と遊ぶことが多い	<input type="radio"/>					
性別を理由に遊び相手を決めることがある	<input type="radio"/>					
男女関係なく、遊びの内容を選んでいる	<input type="radio"/>					
女児がよくする遊びがある	<input type="radio"/>					
男児がよくする遊びがある	<input type="radio"/>					
人気のあるテレビ番組やテレビゲームなどが男児と女児で異なる	<input type="radio"/>					

< → >

6% アンケートの進捗状況

Q3. 子供たちが、他の子供や大人の外見や振る舞いについて、ジェンダー・ステレオタイプに基づいて発言している様子はありますか。（例：「女の子なのに戦いっこしてる」、「ピンクの服は男の子の服じゃないよ」）

- 全くない
- あまりない
- どちらともいえない
- まあまあある
- とてもある
- わからない

[<](#) [→ >](#)

7% アンケートの進捗状況

Q3.1.（「まあまあある」、「とてもある」と回答された方にお伺いします。）  
どのような様子だったか、教えてください。

[<](#) [→ >](#)

9% アンケートの進捗状況

Q3.1.1. あなたがその様子をみかけたとき、どのような反応をしましたか。ご自由にご記入下さい。

[<](#) [→ >](#)

10% アンケートの進捗状況

Q4. あなたが勤めている園では、以下のような活動をおこなった際に、男児と女児で違いがみられましたか。それぞれの活動時の子供たちの様子に最も当てはまるものを1つずつ選択してください。

	男女で全く違う はみられなかつた	男女であまり違 いはみられなか つた	どちらともいえ ない	男女でやや違い がみられた	男女でとても違 いがみられた	わからない
製作（粘土を含む）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
数を使った活動	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
食育（調理を含む）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
子供の疑問に基づく実験 (例：色水を混ぜて色の 変化を試したりする活動 等)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
タブレット等の端末を子 供が操作する活動	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
虫探し	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
飼育・栽培	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>



セクション2. あなたが勤めている園の環境についてお伺いします。

Q5. あなたが勤めている園では、以下について男女別になっていますか。  
園の状況に最も近いものをそれぞれ1つずつ選択してください。

	園全体で男女別	クラスや年齢によ っては男女別	男女共通である	わからない	該当なし
保育者の服装	<input type="radio"/>				
子供の服装	<input type="radio"/>				
子供のロッカー	<input type="radio"/>				
3歳未満児のトイレ	<input type="radio"/>				
3歳以上児のトイレ	<input type="radio"/>				



Q5.1.1.（「保育者の服装」について、「園全体で男女別」「クラスや年齢によ  
っては男女別」と回答された方にお伺いします。）男性の保育者の服装の配色に  
ついて、以下の選択肢から、最も近いものを【最大3つまで】選択してください。

赤・ピンク

青・水色

黄・オレンジ

緑

紫

白

茶・ベージュ

黒・グレー

その他

[ ]

わからない

Q5.1.2.（「保育者の服装」について、「園全体で男女別」「クラスや年齢によつては男女別」と回答された方にお伺いします。）女性の保育者の服装の配色について、以下の選択肢から、最も近いものを【最大3つまで】選択してください。

赤・ピンク

青・水色

黄・オレンジ

緑

紫

白

茶・ベージュ

黒・グレー

その他

わからない

Q5.2.1.（「子供の服装」について、「園全体で男女別」「クラスや年齢によつては男女別」と回答された方にお伺いします。）男児の服装の配色について、以下の選択肢から、最も近いものを【最大3つまで】選択してください。

赤・ピンク

青・水色

黄・オレンジ

緑

紫

白

茶・ベージュ

黒・グレー

その他

わからない

Q5.2.2.（「子供の服装」について、「園全体で男女別」「クラスや年齢によつては男女別」と回答された方にお伺いします。）女児の服装の配色について、以下の選択肢から、最も近いものを【最大3つまで】選択してください。

赤・ピンク

青・水色

黄・オレンジ

緑

紫

白

茶・ベージュ

黒・グレー

その他

わからない

Q5.3.1.（「3歳以上児のトイレ」について、「園全体で男女別」「クラスや年齢によつては男女別」と回答された方にお伺いします。）男児（3歳以上）のトイレの扉や壁の配色について、以下の選択肢から、最も近いものを【最大3つまで】選択してください。

赤・ピンク

青・水色

黄・オレンジ

緑

紫

白

茶・ベージュ

黒・グレー

その他

わからない

Q5.3.2.（「3歳以上児のトイレ」について、「園全体で男女別」「クラスや年齢によっては男女別」と回答された方にお伺いします。）女児（3歳以上）のトイレの扉や壁の配色について、以下の選択肢から、最も近いものを【最大3つまで】選択してください。

赤・ピンク

青・水色

黄・オレンジ

緑

紫

白

茶・ベージュ

黒・グレー

その他

わからない

<

→ >

24% アンケートの進捗状況

Q6. 子供が自分で、持ち物や場所（靴箱やロッカー等）を区別できるように、園内ではどのように示していますか。最も当てはまるものを1つ選択してください。

子供の名前を書いたり、名前シールを貼ったりしている

ひとりひとり異なる絵のついたシールを貼っている

子供の顔写真を貼っている

個人用の持ち物や場所はない

その他

わからない

<

→ >

Q6.1. (「ひとりひとり異なる絵のついたシールを貼っている」と回答された方にお伺いします。)

女児のシールの例（物や動物等の名前）を、具体的に【3つまで】ご記入ください。

具体例1

具体例2

具体例3

Q6.2. (「ひとりひとり異なる絵のついたシールを貼っている」と回答された方にお伺いします。)

男児のシールの例（物や動物等の名前）を、具体的に【3つまで】ご記入ください。

具体例1

具体例2

具体例3

Q6.3. (「ひとりひとり異なる絵のついたシールを貼っている」と回答された方にお伺いします。)

あなたはこれまでシールの選択に関わったことがありますか。

はい

いいえ

30% アンケートの進捗状況

Q6.3.1. (「はい」と回答した方にお伺いします。)

あなたが子供それぞれにシールを選ぶ際に、どのようなことを考慮されましたか。当てはまるものを【すべて】選択してください。

- その子供が男の子か女の子か
- その子供の名前に合ったもの
- その子供のイメージに合ったもの
- その子供の好きなもの
- 園の方針
- その他
- わからない

[◀](#) [→ ▶](#)

31% アンケートの進捗状況

Q7. 園内に固定的な性別役割分担にとらわれない絵本を配置されていますか。

- ない
- ある（5冊未満）
- ある（5冊以上）
- わからない

[◀](#) [→ ▶](#)

セクション3. あなたがお勤めされている園における、保護者との関わりについてお伺いします。

Q8. 園に以下のような保護者の集会はありますか。ある場合、当てはまるものを【すべて】選択してください。

- ない
- 保護者が集まる会（例：保護者会、PTAなど）
- 母親のみ集まる会（例：母の会など）
- 父親のみ集まる会（例：おやじの会など）
- その他
- わからない

Q9. お勤めされている園から保護者に対して、男女共同参画社会（性別に関わらず男女がともに活躍できる社会）の重要性について伝えることがありますか。過去1年間での頻度について、最も近いものを1つずつ選択してください。

	3回以上あった	1,2回あった	なかった	わからない
日常の会話のなかで伝える	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
園だよりなどの配布物で伝える	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
保護者との懇談会などでテーマとして扱う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
保護者向けの講演会などを外部に依頼する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q10. 保育者の性別のみを理由として、保護者から要望や苦情が出された場合（「○○は女性にやってもらいたい」等）は、どのように対応されていますか。最も近いものを1つ選択してください。

- そのような経験はない
- 当該児のみ保護者の要望に沿うようにする
- 園ないしクラス全体として保護者の要望に沿うようにする
- 要望を出した保護者のみに園の方針を説明し、保育者の性別のみで対応を分けることはしない  
ない
- 保護者全体に園の方針を説明し、保育者の性別のみで対応を分けることはしない
- 決まった方針はない
- その他
- わからない



Q11. 保護者についてあなたのお考えについて、当てはまるものを1つずつ選択してください。

	全くそう思わない	あまりそう思わない い	どちらともいえな い	ややそう思う	とてもそう思う
子育てにおいて性別のみを理由に母親と父親の役割分担を決めるべきではない。	<input type="radio"/>				
共働きで子供の具合が悪くなつた時、母親が看病するべきだ。	<input type="radio"/>				
保護者は、我が子に対して「男だから」「女だから」という意識を持ちがちである。	<input type="radio"/>				
自園にいる／いないに関わらず、同性カップルの保護者に対して違和感はない。	<input type="radio"/>				
父親が子供の食事を手作りすべきだ。	<input type="radio"/>				
自分は保護者の性別で態度を変えないように心がけている。	<input type="radio"/>				
母親は自分のことよりも子育てを優先すべきだ。	<input type="radio"/>				
母親が子供の食事を手作りすべきだ。	<input type="radio"/>				
父親は自分のことよりも子育てを優先すべきだ。	<input type="radio"/>				
共働きで子供の具合が悪くなつた時、父親が看病するべきだ。	<input type="radio"/>				

## セクション4. あなたご自身の考え方についてお伺いします。

Q12. あなたのこれまでの経験（以前の職場や、職場以外の経験も含みます）を踏まえた際、子供の一般的な様子として、以下の項目は男の子、女の子のどちらに見られる傾向にあると思いますか。あなたの感覚に最も近いものを1つずつ選択してください。

男の子	どちらかといえば 男の子	どちらともいえない	どちらかといえば 女の子	女の子
遊びを主導する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
感情を表に出す	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
おとなしく遊ぶ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
周りの人のことをよく気 にしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
他の人の世話をしたがる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
言葉でうまく伝える	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
勇気がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
手先が器用である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>



43% アンケートの進捗状況

Q13. あなた自身は、以下のような子供への対応をしたことがありますか。それ  
ぞれの頻度について、最も近いものを1つずつ選択してください。

	全くしていない	あまりしていない	どちらともいえない	たまにしている	よくしている
「男の子はやっぱり。。が上手だね」などとほめる	<input type="radio"/>				
「女の子なんだから。。してはダメだよ」などと注意する	<input type="radio"/>				
互いの違いを認めあう大切さについて、子どもに話している	<input type="radio"/>				
「男の子が先に移動してね」と指示を出す	<input type="radio"/>				
「女の子が先に移動してね」と指示を出す	<input type="radio"/>				
「男の子なんだから。。してはダメだよ」などと注意する	<input type="radio"/>				
「女の子はやっぱり。。が上手だね」などとほめる	<input type="radio"/>				

[◀](#) [→ ▶](#)

45% アンケートの進捗状況

Q13.1. (「『男の子が先に移動してね』と指示を出す」「『女の子が先に移動してね』と指示を出す」について、「たまにしている」「よくしている」と回答された方にお伺いします。)  
「男の子／女の子が先に移動してね」と指示を出している理由として、当てはまるものを【すべて】選択してください。

- 特に理由はない
- そのような表現を使用した方が、子供によく伝わるから
- 園内の他の保育者もそのようにしているから
- 先輩保育者や園長からそのように指導されたから
- 保護者から要望があるから
- それ以外に方法が分からないから
- その他

[◀](#) [→ ▶](#)

46% アンケートの進捗状況

Q13.1.1.（「園内の他の保育者もそのようにしているから」「先輩保育者や園長からそのように指導されたから」「保護者から要望があるから」と回答した方にお伺いします。）そのことについて、あなたはどのように考えていますか。

- まったく良くないと思う
- あまり良くないと思う
- どちらともいえない
- まあ良いと思う
- とても良いと思う



48% アンケートの進捗状況

Q14. 子供への対応に関する次の記述について、あなたの考えに最も近いものを1つずつ選択してください。

	反対	どちらかといえば反対	どちらともいえ ない	どちらかといえば 賛成	賛成	わからない
性別によらず、個性に応じた対応をすべきである	<input type="radio"/>					
性別によらず子供たちに関わるのがよいが、身体的な違いには配慮すべきである	<input type="radio"/>					
子供の生物学的な性別に応じて、女の子らしく／男の子らしく育てるべきである	<input type="radio"/>					



Q15. あなたが勤めている園における保育者を取り巻く関係等について、最も近いものをそれぞれ1つずつ選択してください。

	全くそう思わない い	あまりそう思わない ない	どちらともいえ ない	ややそう思う	とてもそう思う	わからない
男性の保育者と女性の保育者では意見が異なることが多い	<input type="radio"/>					
個人の能力に関わらず、男性の保育者に力仕事を任せることが多い	<input type="radio"/>					
女性よりも男性の保育者の方が管理職になりやすい	<input type="radio"/>					

Q16. 男女共同参画社会（性別に関わらず男女がともに活躍できる社会）の実現に向けて、どこが変わることが重要だと思いますか。

以下の5つの場所のうち、特に重要だと思うものを【2つまで】選択してください。

- 家庭
- 幼稚園・保育所・こども園等
- 小学校・中学校・高等学校等
- 職場
- 地域
- 特にない



Q17. あなた自身のお考えについて、それぞれ当てはまるものを1つずつ選択してください。

	全くそう思わない	あまりそう思わない い	どちらともいえな い	ややそう思う	とてもそう思う
女性に理系の進路（学校・職業）は向いてない	<input type="radio"/>				
男性は人前で泣くべきではない	<input type="radio"/>				
女性には女性らしい感性があるものだ	<input type="radio"/>				
家事・育児は女性がするべきだ	<input type="radio"/>				
男性はきめ細かな作業は向いていない	<input type="radio"/>				
女性は感情的になりやすい	<input type="radio"/>				
男性であればいい大学を出て出世を目指すべきだ	<input type="radio"/>				
女性は結婚によって、経済的に安定を得る方が良い	<input type="radio"/>				
仕事で成功していても、結婚をしていない女性は何かが足りないと感じる	<input type="radio"/>				
男性より女性の方が思いやりがある	<input type="radio"/>				
育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない	<input type="radio"/>				
男性は仕事をして家計を支えるべきだ	<input type="radio"/>				
女性はか弱い存在なので、守られなければならない	<input type="radio"/>				

組織のリーダーは男性の方が向いている	<input type="radio"/>				
男性は結婚して家庭をもって一人前だ	<input type="radio"/>				
同程度の実力なら、まず男性から昇進させたり管理職に登用するものだ	<input type="radio"/>				
PTAには、女性が参加するべきだ	<input type="radio"/>				
親戚や地域の会合で食事の準備や配膳をするのは女性の役割だ	<input type="radio"/>				
仕事で成功していても、結婚をしていない男性は何かが足りないと感じる	<input type="radio"/>				



54% アンケートの進捗状況

Q18. ジェンダーに関連して、あなたが仕事上、迷ったり悩んだりしたことがあれば教えてください。



55% アンケートの進捗状況

セクション5. 保育に関するあなたのこれまでの学びについてお伺いします。

Q19a. (Q1にて「施設長・園長」「副施設長・副園長・教頭」「幼稚園教諭・保育士・保育教諭」と回答した方にお伺いします。) 幼児教育／保育について、主にどこで学びましたか。当てはまるものを1つ選択してください。

- 専門学校
- 短期大学
- 4年制大学
- 大学院
- 社会教育の講座や民間セミナー等
- 一人で勉強した



55% アンケートの進捗状況

セクション5. 保育に関するあなたのこれまでの学びについてお伺いします。

Q19b. (Q1にて「看護師・保健師」、「栄養士・調理師」、「事務職員」、「その他」と回答した方にお伺いします。) 幼児教育／保育について、主にどこで学びましたか。当てはまるものを1つ選択してください。

- 専門学校
- 短期大学
- 4年制大学
- 大学院
- 社会教育の講座や民間セミナー等
- 一人で勉強した
- 学んだことはない



60% アンケートの進捗状況

Q19.1. Q19で回答いただいた学びの中で、以下の内容について学んだことはありますか？

あなたが学んだことのあるものを【すべて】選択してください。

- 子供への男女共同参画教育
- 性別違和（出生時の性別への違和感）
- 男女共同参画社会の実現
- セクシュアル・ハラスメント
- 性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）



61% アンケートの進捗状況

Q20. 現在の職に就いてから、以下の内容の研修を受講したことがありますか。

ある場合は、それぞれの内容に関する研修が有意義であったかどうかについて、最も近いものを1つずつ選択してください。ない場合は、「受講したことがない」を選択してください。

	有意義ではなか った	あまり有意義で なかった	どちらともいえ ない	やや有意義だっ た	有意義だった	受講したことが ない
子供への男女共同参画教 育	<input type="radio"/>					
性別違和（出生時の性別 への違和感）	<input type="radio"/>					
男女共同参画社会の実現	<input type="radio"/>					
セクシュアル・ハラスメ ント	<input type="radio"/>					
性別による無意識の思い 込み（アンコンシャス・ バイアス）	<input type="radio"/>					

Q21. 男女共同参画に対する意識を高めるために、どの内容に関する研修があつたらよいと思いますか？  
当てはまるものを【すべて】選択してください。

- 子供への男女共同参画教育
- 性別違和（出生時の性別への違和感）
- 男女共同参画社会の実現
- セクシュアル・ハラスメント
- 性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）
- その他
- 特に必要ない

Q22. 男女共同参画に対する意識を高めるために、園内でどのような取り組みができるといいと思いますか？  
当てはまるものを【すべて】選択してください。

- 職員が園外の研修に参加しやすいよう、園内の体制を整える
- 園内で男女共同参画に関する研修をする
- 園内で男女共同参画について意見交換する機会を設ける
- 保護者に対して、男女共同参画をテーマにした講演会を実施する
- 男性職員の育児休業取得を促進する
- 女性管理職の登用を促進する
- その他
- 特に必要ない



セクション6. あなたがお勤めされている園についてお伺いします。

Q23. あなたがお勤めされている園の種別について、当てはまるものを1つ選択してください。

- 幼稚園
- 保育所
- 認定こども園
- その他

Q24. あなたがお勤めされている園の設立形態について、当てはまるものを1つ選択してください。

- 国公立
- 公設民営
- 民設民営



70% アンケートの進捗状況

Q24.1. (「園の設立形態」について「公設民営」「民設民営」と回答された方にお尋ねします。) あなたがお勤めされている園の運営形態について、当てはまるものを1つ選択してください。

- 学校法人
- 社会福祉法人
- 宗教法人
- 株式会社
- NPO法人
- その他
- わからない



72% アンケートの進捗状況

Q25. あなたがお勤めされている園の現在の園児の人数を教えてください。  
(おおよその数でかまいません。)

- 0~10人
- 11~50人
- 51~100人
- 101~200人
- 201人以上
- わからない

Q26. あなたがお勤めされている園の2024年4月時点の在園児の年齢について、最も近いものを1つ選択してください。

- 0~2歳
- 3~5歳
- 0~5歳



75% アンケートの進捗状況

Q27. あなたがお勤めされている園の全職員の人数を教えてください。  
(パート・アルバイトの方も含んでください。およその数でかまいません。)

- 0~10人
- 11~20人
- 21~30人
- 31~40人
- 41~50人
- 51人以上
- わからない

Q28. 職員全体の男女比はどのぐらいですか。

- 女性のみ
- 女性が9割以上、男性が1割未満
- 女性が8割以上、男性が2割未満
- 男性が2割以上
- わからない



78% アンケートの進捗状況

Q29. あなたがお勤めされている園の保育者の人数を教えてください。  
(パート・アルバイトの方も含んでください。およその数でかまいません。)

- 0~10人
- 11~20人
- 21~30人
- 31~40人
- 41~50人
- 51人以上
- わからない

Q30. 保育者の男女比はどのくらいですか。

- 女性のみ
- 女性が9割以上、男性が1割未満
- 女性が8割以上、男性が2割未満
- 男性が2割以上
- わからない



81% アンケートの進捗状況

Q31. 園長・施設長の性別を教えてください。

(長の名称が異なる場合はあなたが勤めている園での名称を想定してお答えください。なお、該当する立場の方が2人以上おられてそれぞれ異なる場合は、両方を選択してください。)

男性

女性

回答しない

Q32. あなたがお勤めされている園の所在地について、最も近いものを1つ選択してください。

大都市（東京都23区・政令指定都市）

市部

郡部（町村）

わからない



セクション7. あなたご自身についてお伺いします。

Q33. あなたの性別を教えてください。

- 男性
- 女性
- 回答しない

Q34. あなたの年齢を教えてください。 (2024年4月時点)

※数字でご入力ください。

Q35. あなたの雇用形態を教えてください。

- 正規
- パート・アルバイト
- 会計年度任用職員
- その他
- わからない



90% アンケートの進捗状況

Q36. (Q1で、現在の職種として「幼稚園教諭・保育士・保育教諭」を選択された方にお伺いします。) 現在の職位は何ですか。最も近いものを1つ選択してください。

- 担任
- 主任・リーダー（乳児、幼児、学年、教務など）
- 補助
- フリー
- 施設長・園長・副施設長・副園長・教頭
- その他

Q37. (施設長や保育者の方などにお伺いします。)  
保育者としての経験年数を教えてください。（2024年4月時点）

※数字でご入力ください。



93% アンケートの進捗状況

Q38. 生計を共にするパートナー（配偶者等）はいらっしゃいますか。

- いる
- いない
- 回答しない

Q39. あなたご自身にお子さんはいらっしゃいますか。

- いる
- いない
- 回答しない



96% アンケートの進捗状況

Q40. あなたが卒業した学校について、男女共学か、または男女別学であったか、該当するものをそれぞれ選択してください。

	男女共学	男女別学	通っていない
中学校	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
高校	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
専門学校・各種学校	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
短期大学	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
大学	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
大学院	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
その他	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

[◀](#) [→ ▶](#)

97% アンケートの進捗状況

Q41. あなたが勤めている園で、固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込みを解消するために取り組まれたことはありますか。

- ある  
 ない

[◀](#) [→ ▶](#)

99% アンケートの進捗状況

質問は以上です。  
ご協力いただき、誠にありがとうございました。  
「→」ボタンを押して、回答を完了してください。

[◀](#) [→ ▶](#)

---

100% アンケートの進捗状況

回答が記録されました。

本アンケート調査の結果については、2025年5月中旬以降に、以下のwebページに記載いたします。

ご覧になりたい方は、お手数おかけいたしますが以下へアクセスしていただくようお願いいたします。

<https://www.cf.ocha.ac.jp/youji/project/index.html>

また、最後の質問「あなたのお勤めされている園で、固定的な性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアス解消のための取り組まれたことはありますか」に「はい」とご回答された方で、具体的に教えてくださる方は、以下のリンクからご回答ください。

※なお、以下のリンクとこのアンケートでの回答を関連づけることはございません。

[https://ochanomizu.qualtrics.com/jfe/form/SV\\_1XM5QeYdqbKNoJE](https://ochanomizu.qualtrics.com/jfe/form/SV_1XM5QeYdqbKNoJE)

## 参考資料2 インタビューガイド

### 1. 園の特徴についてお伺いします。

(職員数、園児数、園の沿革、大切にしていること、地域の特徴など、見学者向けに提供されている基本的な情報を話していただく)

### 2. 実施されているジェンダーに関わる実践についてお伺いします。

質問紙調査では、～～のような実践について書いてくださっていました。  
これについて、より詳しく教えてください。

### 3. 保育者の関わり、反応についてお伺いします。

保育者の方が普段、心がけているのはどのようなことですか。  
子供が何らかのジェンダーバイアスに基づく発言、行為等が見られた時、  
どのように反応していますか。  
保育者の方が学ぶための仕組みはどのようにされていますか。

### 4. 子供の反応についてお伺いします。

子供の様子として、ジェンダーに関連して、印象に残っていることはありますか。  
以前と変わってきたことはありますか。  
良いと感じていることや、課題はありますか。

### 5. 保護者の反応についてお伺いします。

実践について、保護者の方からどのような反応がありますか。  
子供の様子をどのように伝えていますか。  
保護者とのやりとりで、良かったことや課題に感じたことはありますか。

## 調査実施メンバー

小玉 亮子（お茶の水女子大学基幹研究院・教授）／代表

石黒万里子（東京成徳大学子ども学部・教授）

黒岩 薫（お茶の水女子大学大学院博士後期課程）

辻谷真知子（お茶の水女子大学基幹研究院・助教）

高橋 翠（東京大学教育学研究科附属発達保育実践政策学センター・助教）

幼児期における固定的な性別役割分担意識及びアンコンシャス・バイアス形成に関する調査研究 HP

<https://www.cf.ocha.ac.jp/youjiproject/index.html>





お茶の水女子大学  
Ochanomizu University